

アニュアルレポート 2019

地理環境学域／地理環境

首都大学東京
大学院都市環境科学研究科地理環境学域
都市環境学部地理環境学科

目次

1 地形・地質学研究室	1
1) スタッフ	1
2) 研究概要	1
3) 研究成果 (2019 年度)	2
2 気候学研究室	10
1) スタッフ	10
2) 研究概要	10
3) 研究成果 (2019 年度)	11
3 環境地理学研究室	20
1) スタッフ	20
2) 研究概要	20
4 地理情報学研究室	25
1) スタッフ	25
2) 研究概要	25
3) 研究成果 (2019 年度)	26
5 都市・人文地理学研究室	30
1) スタッフ	30
2) 研究概要	30
3) 研究成果 (2019 年度)	31
6 特定学術研究	36
7 学位論文	39

1 地形・地質学研究室

1) スタッフ

教授	鈴木毅彦
准教授	白井正明
助教	石村大輔
特任助教	村田昌則
特任研究員	青木かおり・高橋尚志（2019年5月から）
客員教授	加藤 茂
客員准教授	小林 淳
客員研究員	田村糸子・西澤文勝・宇津川喬子
協力研究員	河合貴之
大学院（博士前期課程） 卒論生	田川結望・田野智大・平峰玲緒奈・小田龍平・寺山怜・松風 潤 青柳広基・秋草慧一・佐藤潤一

2) 研究概要

地形・地質学研究室では将来の地球環境変化を予測することを最終的な目標として、将来予測に必要な過去の環境変化や地形形成過程など、大地に刻まれた情報を解明する研究を行っている。現在および最近の地質時代（第四紀）の地形・地質に関連する様々な現象が主要な研究対象である。

1. 地形や地質に着目して第四紀（現在～数百万年前）におきた現象を10万年～10年の精度で復元し、環境変動史・災害史を構築する。
2. 日本列島とその周辺域に分布する火山噴出物に注目し、爆発的な火山の噴火史とそれにともなう地形変化を明らかにし、火山災害や噴火による環境変化の解明に取り組む。
3. 河床や段丘、ラハール堆積物などの堆積粒子（砂粒や礫）の特徴（配列や形状など）を調べ、堆積物の生成－運搬－堆積過程を推測する。
4. 日本列島近海の堆積物の解析を行い、過去の災害史や人類活動の影響を明らかにする。
5. 断層運動（地震）によって直接的・間接的に形成された地形や堆積物を対象に、地震の履歴や断層の活動度を明らかにし、地震の発生メカニズム解明やハザード評価に資する研究を行う。
6. 海成段丘・河成段丘を調査し、数10万年前以降の地形発達史と地殻変動を明らかに

する。

3) 研究成果 (2019 年度)

原著論文・展望論文 (査読付きの論文)

- Suzuki, T., Maruyama, S., Danhara, T., Hirata, T., Machida, H. and Arai, F. 2020. Identification of Lower Pleistocene widespread tephra associated with large caldera-forming eruptions in the Tohoku area, north-east Japan. *Journal of Quaternary Science* **35**: 316-333. doi 10.1002/jqs.3162.
- Abbott, P., Jensen, B., Lowe, D., Suzuki, T. and Veres, D. 2020. Crossing new frontiers: extending tephrochronology as a global geoscientific research tool. *Journal of Quaternary Science* **35**: 1-8. doi 10.1002/jqs.3184.
- Albert, P., Smith, V., Suzuki, T., McLean, D., Tomlinson, E., Miyabuchi, Y., Kitaba, I., Mark, D., Moriwaki, H., Suigetsu 2006 Project Members and Nakagawa, T. 2019. Geochemical characterisation of the Late Quaternary widespread Japanese tephrostratigraphic markers and correlations to the Lake Suigetsu sedimentary archive (SG06 core). *Quaternary Geochronology* **52**: 103-131. doi.org/10.1016/j.quageo.2019.01.005.
- McLean, D., Albert, P., Suzuki, T., Nakagawa, T., Kimura, J., Chang, Q., Macleod, A., Blockley, S., Staff, R., Yamada, K., Kitaba, I., Haraguchi, T., Kitagawa, J., Smith, V. and SG14 Project Members 2020. Refining the eruptive history of Ulleungdo and Changbaishan volcanoes (East Asia) over the last 86 kyrs using distal sedimentary records. *Journal of Volcanology and Geothermal Research* **389**: 106669. doi.org/10.1016/j.jvolgeores.2019.106669.
- 遠藤邦彦・千葉達朗・杉中佑輔・須貝俊彦・鈴木毅彦・上杉 陽・石綿しげ子・中山俊雄・舟津太郎・大里重人・鈴木正章・野口真利江・佐藤明夫・近藤玲介・堀伸三郎 2019. 武蔵野台地の新たな地形区分. *第四紀研究* **58**: 353-375.
- 白井正明・宇津川喬子・渡辺万葉 2020. 赤水の滝の形成過程から考える大規模土石流が安倍川上流域の地形に与えた影響. *第四紀研究* **59**: 17-29.
- 石村大輔 2019. 宮城県南三陸町大沼で見出された津波堆積物の年代の再検討. *活断層研究* **51**: 53-59.
- 石村大輔 2019. 熊本県西原村布田における布田川断層の 2016 年熊本地震 (Mw7.0) 時上下変位と活動性. *活断層研究* **50**: 33-44.
- 石村大輔 2019. 三陸海岸における 2011 年東北地方太平洋沖地震後の古津波堆積物研究. *第四紀研究* **58**: 175-186.
- Ishimura, D. and Yamada, K. 2019. Palaeo-tsunami inundation distances deduced from roundness of gravel particles in tsunami deposits. *Scientific Reports* **9**: 10251. doi.org/10.1038/s41598-019-46584-z.
- Ishimura, D. and Hiramane, R. 2020. Proximal–distal fall deposit correlation of VEI-5 tephra (Towada-Chuseri) from Towada volcano, northeast Japan. *Journal of Quaternary Science* **35**: 334-348.

doi.org/10.1002/jqs.3161.

- 遠田晋次・石村大輔 2019. 熊本地震など内陸大地震で見いだされた誘発性地表地震断層と短い活断層の評価. 第四紀研究 **58**: 121-136.
- Aoki, K. 2020. Dawson tephra, a widespread 29-ka marker bed, in a marine core from Patton Seamount off the Alaska Peninsula and its potential marine-terrestrial correlation. *Journal of Quaternary Science* **35**: 93-101. doi.org/10.1002/jqs.3176.
- 高橋尚志・須貝俊彦 2020. 関東地方, 荒川狭窄部における河成段丘発達過程および荒川本流の河床縦断面形変化史に関する再検討. 地学雑誌 **129**: 123-140.
- 田村糸子・水野清秀・宇都宮正志・中嶋輝允・山崎晴雄 2019. 房総半島に分布する上総層群の広域テフラ - 特に上総層群下部におけるテフラ層序と新たな対比-. 地質学雑誌 **125**: 23-39.
- 高木秀雄・杉山幸太郎・田村糸子・水野清秀・北澤夏樹・河本和朗 2019. 長野県伊那市の中央構造線非持露頭における最新活動の認定. 活断層研究 **50**: 1-12.
- Nishizawa, F. and Suzuki, T. 2019. Characterization and correlation of the Hegawa-Kasamori 5 tephra, a widespread tephra aged c. 450 ka associated with large-scale pyroclastic flows from southern Kyushu, SW Japan. *Journal of Quaternary Science* **35**: 288-303. doi: 10.1002/jqs.3172.
- 宇津川喬子・白井正明 2019. 河川砕屑物の生産—運搬過程における破碎・摩耗作用の特徴: 砂礫の岩種, 粒径および円磨度の関係. 堆積学研究 **78**: 15-31.
- その他の論文(査読なしの論文、紀要・単行本の分担執筆を含む)
- 中澤 努・納谷友規・坂田健太郎・本郷美佐緒・鈴木毅彦・中山俊雄 2020. 東京層の模式コアセクション(代々木公園コア)における層序の再検討. 地質調査研究報告 **71**: 19 -32.
- Aoki, K. 2020. Major-element composition of volcanic glass shards in late Quaternary tephra provided from the Asama volcano in An-naka and Tomioka area, Gunma prefecture, central Japan. *Geographical Reports of Tokyo Metropolitan University* **55**: 1-11.
- 青木かおり 2020. 天城カワゴ平テフラ (Kg) の分布と噴出年代に関する一考察. 昭和女子大学文化史研究 **23**: 39-49.
- 下岡順直・早田 勉・青木かおり・若井明彦 2020. 浅間板鼻褐色軽石群 (As-BP Group) の岩石記載と放射性炭素年代. 地球環境研究 **22**: 57-65.
- 高橋尚志 2019. 水文解析を用いた河川上流域における長期的土砂移動過程の復元. GIS NEXT **69**: 59.
- 田村糸子 2019. 火山灰 (テフラ) -噴火史の復元と時間の鍵層. 高木秀雄・蛭川雅春編『Geoワールド 房総半島』 mihorin 企画: 67-78.
- 宇都宮正志・水野清秀・田村糸子 2019. 下部更新統上総層群黄和田層下部～中部に挟まれるテフラ層の層位と特徴. 地質調査研究報告 **70**: 373-441.
- Utugawa, T. and Shirai, M. 2020. Sedimentological characteristics of gravels on refreshed gravel bar by Typhoon 1721 in the middle of the Tama River, central Japan. *Geographical Reports of Tokyo*

Metropolitan University 55: 13-21.

編著書(単著・共著・編集など、分担執筆は含まない)

貝塚爽平・太田陽子・小疇 尚・小池一之・野上道男・町田 洋・米倉伸之・久保純子・鈴木毅彦編 2019. 『写真と図でみる地形学 増補新装版』東京大学出版会.

報告書

なし

書評

なし

その他の報文(技術レポート、商業誌、解説・雑録など)

鈴木毅彦 2019. 水月湖テフラ研究に関する講演会報告. 第四紀通信 26: 12-13.

鈴木毅彦 2020. 1.2.1 概観. 多摩川中上流域上総層群調査研究プロジェクト実行委員会編『多摩川中上流域上総層群調査研究プロジェクト報告書』多摩川中上流域上総層群調査研究プロジェクト実行委員会: 22-24.

鈴木毅彦 2020. 第2章 多摩川中・上流域の上総層群. 多摩川中上流域上総層群調査研究プロジェクト実行委員会編『多摩川中上流域上総層群調査研究プロジェクト報告書』多摩川中上流域上総層群調査研究プロジェクト実行委員会: 55-104.

石村大輔 2019. 1:25,000 活断層図 養老-桑名-四日市断層帯とその周辺「津島 改訂版」解説書. 国土地理院技術資料 D1-No.933, 7p.

石村大輔・楮原京子・鈴木康弘・千田 昇 2019. 1:25,000 活断層図「津島(改訂版)」国土地理院.

講演・学会発表

鈴木毅彦 2019. 東京の地形を探求する, 地形と地層からみた武蔵野の歴史. 首都大学東京オープンユニバーシティ, 4月, 5月, 千代田区.

鈴木毅彦 2019. 銚子地域における層序・テフラに関する第四紀編年研究: 関東平野形成過程復元のための優れた標準層序提供フィールド. 日本第四紀学会・銚子ジオパーク推進協議会公開シンポジウム「関東平野東部における第四紀研究の最近の成果」, 8月, 銚子.

鈴木毅彦 2019. 首都直下地震は本当にくるのか? その可能性と備え. 新潮講座, 9月, 新宿区.

鈴木毅彦 2019. 伊豆大島, 最近の火山研究と防災対策. 大島島民フォーラム伊豆大島の火山・土砂災害に備える. 11月, 大島.

鈴木毅彦 2019. 自然災害の怖さを再認識~多摩の地層地形と断層の怖さについて~. 八王子市市民講座, 12月, 八王子.

鈴木毅彦 2020. 自然災害の怖さを再認識~多摩の地層地形と断層の怖さについて~. 八王子市環境学習リーダー第10期養成講座, 1月, 八王子.

鈴木毅彦 2020. 上総層群のテフラから復元する東北日本弧における巨大噴火史と関東平野

- の形成史. 日本地質学会関東支部シンポジウム：関東のテフラー最近の年代観と供給源
ー, 1月, 北区.
- 鈴木毅彦 2020. 多摩川中上流域の上総層群：自然地理学の立場から. 多摩川中上流域上総
層群調査研究シンポジウム, 2月, 羽村.
- 鈴木毅彦 2020. 過去 200 万年間における極低頻度巨大噴火の歴史と自然環境へのインパク
ト. 第 9 回防災学術連携シンポジウム「低頻度巨大災害を考える」, 3月, 港区.
- 鈴木毅彦・千木良雅弘 2019. 伊豆大島南西部における地質時代の斜面崩壊. 日本地球惑星
科学連合大会 2019 年大会: HDS14-04, 5月, 千葉.
- Suzuki, T. and Terayama, S. 2019. Tephrostratigraphy of the basaltic Izu-Oshima volcano during last
20,000 years using radiocarbon ages and distal tephtras, off Tokyo Pacific Ocean. Abstracts of 20th
Congress of the International Union for Quaternary Research (INQUA): P-1608, July, Dublin,
Ireland.
- 鈴木毅彦・寺山 怜・松風 潤・加藤佑一 2019. 伊豆大島南西部「地層大切断面」における先
カルデラ火山新时期山体形成期以降, 過去約 2 万年間のテフロクロノロジー. 日本地球惑
星科学連合大会 2019 年大会: SVC38-01, 5月, 千葉.
- 石原武志・鈴木毅彦 2019. 郡山盆地の 3 本のオールコアの層序対比と浅部地下地質構造解
析. 日本地球惑星科学連合大会 2019 年大会: HQR05-P05, 5月, 千葉.
- 加藤佑一・鈴木毅彦 2019. 久慈川上流部棚倉付近における第四紀後期の河成段丘と河川争
奪について. 日本地球惑星科学連合大会 2019 年大会: HQR05-06, 5月, 千葉.
- Chigira, M., Tajika, J., Ishimaru, S. and Suzuki, T. 2019. Geological features of landslides of
pyroclastic fall deposits induced by the 2018 Eastern Iburi Earthquake and other previous
earthquakes. Abstracts of Japan Geoscience Union Meeting 2019: HDS14-P10, May, Chiba. (in
Japanese with English abstract)
- Takasugi, N., Saito, T., Makino, K. and Suzuki, T. 2019. Tephrochronological relations of Middle-
Pleistocene tephra derived from Myoko Volcanic Group and the pumice and scoria fall deposits
found in Kosha Volcano, Central Japan. Abstracts of Japan Geoscience Union Meeting 2019:
SVC36-P19, May, Chiba. (in Japanese with English abstract)
- 納屋友規・坂田健太郎・中澤 努・鈴木毅彦・中山俊雄 2019. 東京層の層序の再検討：北区
中央公園コアの再解析. 日本地球惑星科学連合大会 2019 年大会: HQR05-10, 5月, 千葉.
- 高杉直彰・齋藤武士・竹下欣宏・牧野州明・鈴木毅彦 2019. 長野県, 高社火山に見られる高
社降下軽石A2 層の対比と飯綱上樽テフラ KT-a 層の再区分. 日本火山学会講演予稿集
2019 年度秋季大会, 157. 9月, 秋田.
- Siwan, D., Albert, P., Bourne, A., Cook, E., Svensson, A., Suzuki, T., Ponomareva, V., Jensen, B. 2019.
The Greenland tephra repository: uncovering the source and timing of distant eruptions. Abstracts
of 20th Congress of the International Union for Quaternary Research (INQUA): O-3042, July,
Dublin, Ireland.

- Smith, V., Humphreys, M., Stock, M., Isaia, R., Suzuki, T., McLean, D. and Albert, P. 2019. Can apatites be used to correlate tephra deposits? Abstracts of 20th Congress of the International Union for Quaternary Research (INQUA): P-3629, July, Dublin, Ireland.
- 遠藤邦彦・杉中佑輔・堀 伸三郎・須貝俊彦・鈴木毅彦・石綿しげ子・上杉 陽・近藤玲介・千葉達朗・中山俊雄・大里重人・野口真利江・佐藤明夫・竹村貴人 2019. 東京台地部・低地部の地形・地質の再検討：大量ボーリング解析と精密地形解析に基づく．日本地球惑星科学連合大会 2019 年大会: HQR05-08, 5 月, 千葉.
- 白井正明 2020. 武蔵野台地西縁と丘陵地の地質—青梅層と上総層群—. 首都大学東京オープンユニバーシティ講座『武蔵野台地西縁部の自然環境—羽村市史編さん事業を通して得られたこと—』, 2 月, 千代田区.
- 白井正明・武原未佳・宇津川喬子. 相模川（桂川）上流域における富士相模川泥流堆積物の堆積学的特徴. 日本地球惑星科学連合大会 2019 年大会: HQR05-P09, 5 月, 千葉.
- Shirai, M., Utsugawa, T. and Kawajiri, K. 2019. Sedimentological features on hyperconcentrated flow deposit formed by the 300 years ago slope failure due to Nankai-Trough earthquake, central Japan. Abstracts of 20th Congress of the International Union for Quaternary Research (INQUA): P-3868, July, Dublin, Ireland.
- 石村大輔・堤 浩之・高橋直也・小田龍平・松風 潤・金田平太郎・小林幹也・熊原康博・小林 淳・市原季彦 2019. 熊本県西原村, 出口口断層における古地震調査. 日本地球惑星科学連合 2019 年大会: SSS15-16, 5 月, 千葉.
- Ishimura, D., Takahashi, N., Tsutsumi, H., Kumahara, Y., Toda, S. and Ichihara, T. 2020. Paleoseismic trenching on the subsidiary surface ruptures associated with the mainshock of the 2016 Kumamoto earthquake sequence. Abstracts of HOKUDAN International Symposium on Active Faulting: 44-45, January, Awaji, Japan. (招待講演)
- Ishimura, D. and Yamada, K. 2020. Lateral correlation of tsunami deposits since ca. 6000 cal BP at Koyadori, Yamada Town, Iwate Prefecture, based on sedimentary facies, geochemical signature, gravel roundness, and radiocarbon dating. Abstracts of HOKUDAN International Symposium on Active Faulting: 42-43, January, Awaji, Japan.
- 石村大輔・山田圭太郎 2020. イベント堆積物中の礫の形態に着目した給源と運搬過程の推定：岩手県山田町小谷島の津波堆積物を例として．日本地理学会発表要旨集 97: 156, 3 月, 世田谷.
- 福島 洋・石村大輔 2019. 2016 年熊本地震の副次的断層すべりによる InSAR 地表変位とすべり分布. 日本地球惑星科学連合 2019 年大会: STT45-03, 5 月, 千葉.
- Claro, S.M., Ramos, N., Maxwell, K., Ramirez, A.B. and Ishimura, D 2019. Characterization of coastal sediments in Zamboanga del Sur, Philippines in relation to offshore tsunamigenic earthquakes. Abstracts of 20th Congress of the International Union for Quaternary Research (INQUA): O-3163, July, Dublin, Ireland.

- 村田昌則・小林 淳・青木かおり・鈴木毅彦 2019. 伊豆諸島神津島火山の天上山および櫛ヶ峰におけるテフラ層序とその対比. 日本第四紀学会講演要旨集 49: 22, 8月, 銚子.
- 村田昌則・小林 淳・高橋尚志・青木かおり・鈴木毅彦 2019. 伊豆諸島神津島火山穴の山におけるテフラ層序と対比. 日本火山学会 2019 年度秋季大会講演予稿集: 97, 9月, 神戸.
- 青木かおり・小林 淳・村田昌則・鈴木毅彦 2019. 房総沖掘削コア C9010E に介在するテフラ層序—速報として—. 日本地球惑星科学連合大会 2019 年大会: HQR05-05, 5月, 千葉.
- 青木かおり・小林 淳・西澤文勝・村田昌則・石村大輔・鈴木毅彦 2019. 伊豆諸島北部、新島に分布する第四紀後期テフラの標準層序と岩石学的・地化学的特性—火山ガラスの主元素組成、斜方輝石、角閃石類の屈折率を中心に—. 日本地球惑星科学連合大会 2019 年大会: SVC38-P21, 5月, 千葉.
- 青木かおり・小林 淳・村田昌則・鈴木毅彦 2019. 房総沖掘削コア C9010E に介在するテフラ層の特徴と編年. 日本第四紀学会講演要旨集 49: 12, 8月, 銚子.
- Aoki, K., Kobayashi, M, Murata, M., Nishizawa, T., Takahashi, T., and Suzuki, T. 2020. Construction of late Quaternary eruption history in and around the Izu Volcanic Islands, off Tokyo. Ocean Sciences Meeting 2020, February, San Diego, USA.
- 高橋尚志・須貝俊彦 2019. 多摩川・荒川上流河谷における, 最終氷期以降の支流の土砂供給様式の時空間変化. 日本地球惑星科学連合 2019 年大会: HGM04-P08, 5月, 千葉.
- 高橋尚志・青木かおり・村田昌則・鈴木毅彦 2019. 氷河性海水準変動と海底地形を踏まえた伊豆諸島の火山活動史構築にむけて. 日本第四紀学会講演要旨集 49: 47, 8月, 銚子.
- 小林 淳 2020. 富士・箱根～伊豆諸島北部にかけての爆発的なテフラ噴火史. 関東のテフラ—最近の年代観と供給源—, 日本地質学会関東支部, 1-4, 1月, 北区.
- 小林 淳 2020. 神津島火山の成り立ち—数万年前に遡る爆発的噴火の歴史—, 観光まちづくりの支援アドバイザー派遣事業(神津島観光協会), 1月, 神津島.
- 小林 淳 2020. 火山ハザードマップの見方・読み方について, 静岡県ふじのくに防災士フォローアップ研修: 静岡県危機管理部, 2月, 静岡.
- 小林 淳 2020. 神津島“火山”の恵み—長年の噴火活動によって創出された資源, 観光まちづくりの支援アドバイザー派遣事業: 神津島観光協会, 3月, 神津島.
- 小松哲也・日浦祐樹・高橋尚志・舟津太郎・村木昌弘・木森大我・須貝俊彦 2019. 日本列島における海成段丘と海底段丘の分布の比較. 日本地球惑星科学連合 2019 年大会, HGM04-P12, 5月, 千葉.
- 小林 淳・村田昌則・青木かおり・石村大輔・鈴木毅彦 2019. 伊豆諸島新島火山, 大三山及び地内島におけるテフラ層序と間々下浦火山噴出物との対比. 日本地球惑星科学連合 2019 年大会: SVC38-02, 5月, 千葉.
- 小林 淳・村田昌則・西澤文勝・鈴木毅彦 2019. 伊豆諸島神津島火山の最新期活動におけるテフラ層序とその噴火史. 日本地球惑星科学連合 2019 年連合大会: SVC38-P22, 5月, 千葉.

- 小林 淳・萬年一剛・山口珠美・長井雅史 2019. 箱根火山中央火口丘上の火口列とその形成年代. 国際噴火史情報研究集会 2019-1: 23-28, 7月, 福岡.
- 小林 淳・萬年一剛・山口珠美・長井雅史 2019. 箱根火山神山・大涌谷周辺の最新期火口列の形成年代と2015年噴火の位置づけ. 日本第四紀学会2019年大会講演要旨集 49: 24, 8月, 銚子.
- 小林 淳・萬年一剛・長井雅史・山口珠美 2019. 箱根火山神山・大涌谷周辺の火口列とその火山防災上の意味. 日本火山学会2019年度秋季大会講演予稿集: 88, 9月, 神戸.
- 小林 淳・村田昌則・西澤文勝・鈴木毅彦 2019, 神津島火山巡検. 日本地質学会関東支部・首都大学東京火山災害研究センター, 11-12月, 神津島.
- Kobayashi, M., Mannen, K., Yamaguchi, T. and Nagai, M. 2020. Phreatic eruption history at the latest stage (since ca. 3ka) of Hakone Volcano. Proceedings of the International Workshop on the mechanism of Phreatic Eruption: 10-11, January, Odawara.
- 田村糸子 2019. 鎌倉の大地の歴史. 自然と主に生きる会(自生の会)主催, 地質見学会, 10月, 鎌倉.
- 田村糸子 2019. 広域テフラ対比に基づく多摩川流域における古環境復元. 秋川流域ジオの会講演会, 11月, 東京. (招待講演)
- 田村糸子 2019. 銚子地域に分布する犬吠層群名洗層のテフラ編年. 千葉県地学教育研究会講演会, 12月, 千葉. (招待講演)
- 田村糸子・水野清秀 2019. 広域テフラ対比に基づく日本列島の前期更新世～鮮新世火山噴火史 —その2: 南九州の火砕流堆積物の編年. 日本地球惑星科学連合2019年大会: HQR05-P07, 5月, 千葉.
- 田村糸子・水野清秀・山崎晴雄 2019. 千葉県銚子地域に分布する犬吠層群名洗層のテフラクロノロジー. 日本第四紀学会2019年大会講演要旨集 49: 52, 8月, 千葉.
- 田村糸子 2020. 南関東における新第三紀/第四紀境界層準の指標テフラ. 日本地質学会関東支部シンポジウム講演資料集, 13-16, 1月, 東京.
- 馬場 章・藤井敏嗣・千葉達朗・吉本充宏・西澤文勝・渋谷秀敏 2019. 富士火山、宝永山の形成過程の考察. 日本地球惑星科学連合2019年大会予稿集: SVC35-02, 5月, 千葉.
- 山本真也・西澤文勝・吉本充宏・宮入陽介・横山祐典・菅 寿美・大河内直彦 2019. 化合物レベル14C年代法による富士山北麓・河口湖堆積物コア中の火山噴出物の年代推定. 2019年度日本地球化学会第66回年会講演要旨集: 149, 9月, 文京区.
- 宇津川喬子 2019. 小・中学校のための堆積学的教材データベースとネットワークの構築. 日本堆積学会2019年大阪大会講演要旨集: 15-16, 4月, 大阪.
- 宇津川喬子 2019. ダム治水と海岸侵食の現場より—静岡県・天竜川～遠州灘—. 2019年度(第74回)立正地理学会研究発表大会: 地理写真G11, 6月, 熊谷.
- 宇津川喬子 2020. 武蔵野台地西部の地形—多摩川と河成段丘—. 首都大学東京オープンユニバーシティ講座『武蔵野台地西縁部の自然環境—羽村市史編さん事業を通して得られ

- たことー』, 2月, 千代田区.
- 宇津川喬子・白井正明・加藤寛佳・加藤早百合 2019. 武蔵野台地西縁部で観察される青梅層の堆積学的特徴. 日本地球惑星科学連合大会 2019 年大会: HQR05-09, 5月, 千葉.
- 横山貴史・原 将也・宇津川喬子・伊藤徹哉・島津 弘 2020. 宮城県名取川堤外地における農地利用の実態と浸水リスク. 日本地理学会発表要旨集 97: 264, 3月, 世田谷区.
- 河合貴之・西澤文勝・山田眞嵩・鈴木毅彦 2019. 北関東・北信地域における大町 APm テフラ群の対比および中部更新統の再検討. 日本第四紀学会講演要旨集 49: 53, 8月, 銚子.
- 平峰玲緒奈 2019. 下北半島北部における海岸の地層形成を知る指標となる火山噴出物. 下北ジオパーク学術研究発表会, 6月, むつ.
- 平峰玲緒奈 2020. 日本列島とその周辺に分布する漂流軽石の給源推定に関する基礎的研究. 高知大学海洋コア総合研究センター共同利用・共同研究成果発表会: 45, 2月, 南国.
- 平峰玲緒奈・青木かおり・石村大輔・小林 淳 2019. 青森県むつ市関根浜における海岸堆積物中の漂流軽石の発見と起源. 日本地球惑星科学連合大会 2019 年大会: HQR05-P04, 5月, 千葉.
- 平峰玲緒奈・青木かおり・鈴木毅彦 2020. 日本列島の現世海岸における漂着軽石の分布とその給源. 日本地理学会発表要旨集 97: 157, 3月, 世田谷区.
- 田野智大・鈴木毅彦・小林 淳・村田昌則 2019. 伊豆諸島御蔵島で確認されたテフラの記載岩石学的特徴. 日本地球惑星科学連合大会 2019 年大会: SVC38-P27, 5月, 千葉.
- 松風 潤・白井正明・宇津川喬子 2019. 新潟県上越地域における海浜礫の形状変化から考える礫の磨耗過程. 日本地球惑星科学連合大会 2019 年大会: HCG32-P01, 5月, 千葉.
- 小田龍平・石村大輔・鈴木毅彦 2019. 北伊豆断層帯周辺の分岐活断層の分布・形状との変位速度. 日本地球惑星科学連合大会 2019 年大会: SSS15-P07, 5月, 千葉.
- 寺山 怜・鈴木毅彦・小林 淳 2019. 伊豆大島最北部碁石浜におけるカルデラ形成以前の火山噴出物とその堆積年代. 日本地球惑星科学連合大会 2019 年大会: SVC38-P19, 5月, 千葉.
- 秋草慧一 2020. 東京湾谷津干潟における貝殻密集部の形成過程. 第 68 回全国地理学専攻学生卒業論文発表大会, 3月, 小金井.

2 気候学研究室

1) スタッフ

教授	松本 淳・高橋日出男
助教	高橋 洋
特任教授	藤部文昭
特任准教授	濱田純一
特任助教	井上知栄
特任研究員	神澤 望・野津雅人・瀬戸芳一・中島 虹 (2019年9月まで)
客員教授	三上岳彦・増田耕一
客員研究員	山島亮二
協力研究員	赤坂郁美・杉本志織・高橋一之・田中博春・大和広明・中島 虹 (2019年10月から)・安孫子悟・二宮大輝
研究生	岡 暁子・藤原周平
大学院 (博士後期課程)	松崎祐太・Lyndon Mark Payanay Olaguera (2019年9月まで)・大塚道子・Rakesh Teja Konduru・山地萌果・Anu Gupta・Hoa Thi Thanh Pham Hoa Thi Thanh Pham・Manalo John Asaula (2019年10月から)
大学院 (博士前期課程)	北林 翔・藤宮健太郎・松浦果菜・伊藤佳紀・柳澤 哲
卒論生 :	平井 匠 (前期休学)・小原亘広・田中重光・布田 大・若林和希

2) 研究概要

気候学研究室では、地球規模での気候変化から、アジアモンスーンの形成・変動メカニズム、都市のヒートアイランド現象や集中豪雨のメカニズムの解析まで様々なスケールでの気候の研究を行なっている。研究手法についても、現地での気象観測、気象観測資料や客観解析資料・衛星観測データなどのデータ解析、数値モデルを用いた気候のメカニズムの解明、と多岐にわたっており、現象のモニタリング、プロセス解明、人間活動との関係、将来予測など、多角的に気候の研究に取り組んでいる。そのため、気候や気候変化に興味のある学生さんをお待ちしている。本研究室で現在行なわれている主な研究テーマとしては、次のようなものがある。

1. 日本および世界における気候変化・気候変動の研究
2. アジアモンスーン域における気候変動や季節変化の研究
3. ヒートアイランド現象や都市型豪雨などの都市気候の発現プロセスや発生機構、都市

大気の詳細構造の観測研究

4. 熱帯域を中心とする地表面状態と雲・降水活動の相互作用に関する研究
5. 日本を中心とする歴史時代の気候復元に関する研究

3) 研究成果 (2019 年度)

原著論文・展望論文(査読付きの論文)

Matsumoto, J., Olaguera, L.M., Nguyen-Le, D., Kubota, H. and Villafuerte II, M.Q. 2020. Climatological seasonal changes of wind and rainfall in the Philippines. *International Journal of Climatology* **40**: 4843-4867. doi:10.1002/joc.6492.

岡 暁子・高橋日出男・中島 虹・鈴木博人 2019. 降水域の広がりに着目した東京とその周辺域における夏季強雨発現の地域特性. *E-journal GEO* **14**: 233-245. doi: 10.4157/ejgeo.14.233.

藤部文昭・松本 淳・鈴木秀人 2019. 日本の低温死亡率の地域性と変動および気温との関係. *天気* **66**: 513-527. doi:10.24761/tenki.66.8_513.

Fujibe, F., Matsumoto, J. and Suzuki, H. 2019. Spatial variability of municipality-wise heat and cold mortality in Japan with respect to temperature and economic states. *Geographical Review of Japan* **92B**: 52-63.

Du, H., Alexander, L. V., Donat, M. G., Lippmann, T., Srivastava, A., Salinger, J., Kruger, A., Choi, G., He, H. S., Fujibe, F., Rusticucci, M., Nandintsetseg, B., Manzanos, R., Rehman, S., Abbas, F., Zhai, P., Yabi, I., Stambaugh, M. C., Wang, S., Batbold, A. de O., Priscilla T., Adrees, M., Hou, W., Zong, S., Santos e Silva, C. M., Lucio, P. S. and Wu, Z. 2019. Precipitation from persistent extremes is increasing in most regions and globally. *Geophysical Research Letters* **46**: 6041-6049. doi:10.1029/2019GL081898.

瀬戸芳一・福嶋アダム・高橋日出男 2019. 夏季の南関東における局地風系の交替時刻の地域分布. *E-journal GEO* **14**: 223-232. doi: 10.4157/ejgeo.14.223.

Olaguera, L.M. and Matsumoto, J. 2020. A climatological study of the wet and dry conditions in the pre-summer monsoon season of the Philippines. *International Journal of Climatology*. doi:10.1002/joc.6452.

Olaguera, L. M., Matsumoto, J., Dado, J. M. B. and Narisma, G. T. T. 2020. Non-tropical cyclone related winter heavy rainfall events over the Philippines: climatology and mechanisms. *Asia-Pacific Journal of Atmospheric Sciences* **57**: 17-33. doi:10.1007/s13143-019-00165-2.

その他の論文(査読なしの論文、紀要・単行本の分担執筆を含む)

Matsumoto J. and Asada H. 2020. Rainfall, floods, and rice production in the Ganges-Brahmaputra-Meghna River Basin. In: Yokoyama S., Matsumoto J., Araki H. (eds) Nature, Culture, and Food in Monsoon Asia, *International Perspectives in Geography, AJG Library* **10**, 3-14, Singapore: Springer. doi: 10.1007/978-981-15-2113-3_1.

藤部文昭 2019. 1899年8月15日の台風による鹿児島島の強風と災害. 天気 **66**: 495-499.

藤部文昭・松本 淳・鈴木秀人 2019. 東京における2018年夏の熱中症被害の概要. 天気 **66**: 644-650.

Konduru, R. T., and Takahashi, H. G. 2020. Seasonal differences in the land-atmosphere coupling over South Asia simulated using a regional climate model. *Geographical reports of Tokyo Metropolitan University*, **55**: 23-34.

植田宏昭・木部亜有美・齋藤美香・井上知栄 2019. 冬季日本の降雪変動における熱帯からの遠隔強制. 気象研究ノート **240**: 105-113.

編著書（単著・共著・編集など、分担執筆は含まない）

Yokoyama S., Matsumoto J. and Araki H. (eds) 2020. Nature, Culture, and Food in Monsoon Asia, *International Perspectives in Geography, AJG Library 10*, Singapore: Springer.

報告書

塚原東吾・松本 淳・久保田尚之・太田 淳・松本桂子（編著）2019. 連続国際ワークショップ資料集『アジアの気候再現 航海日誌・モンスーン・台風をめぐる人文学と気象学のトランスサイエンス』神戸 STS 研究会「神戸 STS 叢書」シリーズ 16, 神戸：神戸大学.

高橋日出男・鈴木博人編 2020. 『都市部における強雨の挙動に関する研究』令和元年度首都大学東京・東日本旅客鉄道株式会社 JR 東日本研究開発センターテクニカルセンター共同研究報告書（首都大学東京代表者：高橋日出男）

書評

なし

その他の報文（技術レポート、商業誌、解説・雑録など）

松本 淳 2019. 第 11 回地球の大気循環復元会議（ACRE-11）関連合同会議報告. 地学雑誌 **128**: N73.

講演・学会発表

松本 淳 2019. アジEMONSOONの変動と稲作—大洪水が育てるバングラデシュの農業. かわさき市民アカデミー講座, 10月, 川崎.

Matsumoto, J. Olaguera, L.M., Kubota, H., Inoue, T., Cayan, E.O. and Hilario, F.D. 2019. Interdecadal shifts in the summer and winter monsoon of the Philippines. The 27th International Union of Geodesy and Geophysics (IUGG) General Assembly, July, Montreal, Canada.

Matsumoto, J., Trinh-Tuan, L., Konduru, T.R., Inoue, T., Ngo-Duc T. and Olaguera, L.M. 2019. Increasing autumn heavy rainfall trend in South Central Vietnam and its relationship with local sea surface temperature. Abstract of the Asia Oceania Geosciences Society 2019 Meeting: AS03-A016, July, Singapore.

Matsumoto, J., Kubota, H., Inoue, T., Terao, T., Murata, F., Hayashi, T., Akasaka, I. and Endo, N. 2019. Data rescue activities in the Asian monsoon region under the ACRE-Japan 2019. ACRE-Asia Joint

- Workshop, November, Wuhan, China.
- Matsumoto, J., Kubota, H., Inoue, T., Terao, T., Murata, F., Kiguchi, M., Hayashi, T., Akasaka, I., Fujinami, H., Kanamori, H. and Endo, N. 2019. Long-term Asian monsoon changes through the data rescue activities under the ACRE-Japan. Workshop on Climate in History in Asia, September, Leiden, Netherlands.
- Matsumoto, J., Kubota, H., Inoue, T., Terao, T., Murata, F., Kiguchi, M., Hayashi, T., Akasaka, I., Kamahori, H., Fujinami, H., Kanamori, H. and Endo, N. 2019. Long-term Asian monsoon changes through the data rescue activities under the ACRE-Japan. AsiaPEX Kick-off Conference, August, Sapporo.
- Matsumoto, J., Kubota, H., Inoue, T., Akasaka, I., Kamahori, H., Fujibe, F., Hayashi, T., Terao, T., Murata, F., Fujinami, H., Fukushima, A., Mikami, T. and Zaiki, M. 2019. Recovery of the Asian monsoon variations since the late 19th century by the data rescue activities. Abstract of the Japan Geosciences Union 2019: MIS17-05, May, Chiba.
- 松本 淳・井上知栄・藤部文昭・濱田純一・林 泰一・寺尾 徹・村田文絵・久保田尚之・赤坂郁美・釜堀弘隆・遠藤伸彦・山本晴彦・小林 茂・村治能孝 2019. ACRE - Japan ・ データレスキューによるアジアモンスーンの長期変動の解明. 日本気象学会 2019 年度春季大会講演予稿集 **115**: 45, 5 月, 渋谷区.
- 藤波初木・金森大成・松本 淳 2019. バングラデシュにおける夏期降水量変動の特徴とその長期変化. 日本気象学会 2019 年度春季大会講演予稿集 **115**: 255, 5 月, 渋谷区.
- Fukushima, A., Kanamori, H. and Matsumoto, J. 2019. Regionality of interannual variation of seasonal precipitation over India. AsiaPEX Kick-off Conference, August, Sapporo.
- 木口雅司・岡見菜生子・田上雅浩・林 泰一・沖 大幹・松本 淳 2019. スリランカにおける 100 年データを用いた降水特性の変化. 日本気象学会 2019 年度春季大会講演予稿集 **115**: 191, 5 月, 渋谷区.
- 木口雅司・岡見菜生子・田上雅浩・林 泰一・沖 大幹・松本 淳 2019. スリランカにおける 100 年データを用いた降水特性の変化. 2019 年日本地理学会秋季学術大会発表要旨集 **96**: 134-135, 9 月, 新潟.
- 久保田尚之・松本 淳・赤坂郁美・財城真寿美・小林 茂 2019. フィリピンの降水量データレスキューにより発展した夏季アジアモンスーン変動研究. 日本気象学会 2019 年度春季大会講演予稿集 **115**: 48, 5 月, 渋谷区.
- Kubota, H., Matsumoto, J., Zaiki, M., Mikami, T., Tsukahara, T., Kobayashi, S., Yamamoto, H., Hirano, J., Inoue, T., Akasaka, I., Kamahori, H., Fujibe, F., Hayashi, T., Terao, T., Murata, F., Fujinami, H. and Fukushima, A. 2019. ACRE Japan and ship logs along Japan. The C3S Data Rescue Capacity Building Workshop and the 12th ACRE Meeting, April, Buenos Aires, Argentina.
- 村治能孝・松本 淳・井上知栄・久保田尚之・山本晴彦・小林 茂・赤坂郁美・釜堀弘隆 2019. 20 世紀前半の紙及び画像気象資料の数値化. 日本気象学会 2019 年度春季大会講演予稿

- 集 **115**: 43, 5 月, 渋谷区.
- 村田文絵・松山沙紀・井上達斗・山崎理子・栗山匡一朗・釜堀弘隆・松本 淳 2019. 長期日降水量データを用いた四国の降水特性の解析. 日本気象学会 2019 年度春季大会講演予稿集 **115**: 71, 5 月, 渋谷区.
- Murata, F., Terao, T., Fujinami, H., Chakravarty, K., Syiemlieh, H.J., Cajee, L. and Matsumoto, J. 2019. Causes of the wettest place in the southern slope of the Meghalaya Plateau, Northeast India. AsiaPEX Kick-off Conference, August, Sapporo.
- 寺尾 徹・鼎 信次郎・松本 淳 2019. GEWEX アジアモンスーン水文気候学研究の新プロジェクト. 日本気象学会 2019 年度春季大会講演予稿集 **115**: 337, 5 月, 渋谷区.
- Terao, T., Kanae, S. and Matsumoto, J. 2019. Missions and key questions of new Asian monsoon hydroclimatological project, Post MAHASRI. Abstract of the Asia Oceania Geosciences Society Annual Meeting: HS07-A022, August, Singapore.
- Terao, T., Kanae, S. and Matsumoto, J. 2019. Objectives and overarching key questions of AsiaPEX. AsiaPEX Kick-off Conference, August, Sapporo.
- 高橋日出男・菅原広史・瀬戸芳一・中島 虹・伊東佳紀・常松展充 2020. 東京西郊から都心における夜間の境界層温度構造に関する予察的解析. 2020 年日本地理学会春季学術大会発表要旨集 **97**: 129, 3 月, 世田谷区.
- 岡 暁子・高橋日出男・鈴木博人 2020. 東京とその周辺域における夏季の局地的な強雨発現頻度日変化の地域性. 2020 年日本地理学会春季学術大会発表要旨集 **97**: 317, 3 月, 世田谷区.
- 高橋 洋・杉本志織・藤波初木 2019. アジアモンスーン域での降水日変化における大気陸面相互作用の役割. 日本気象学会 2019 年度春季大会講演予稿集 **115**: 342, 5 月, 渋谷区.
- 杉本志織・高橋 洋 2019. チベット-ヒマラヤ域を対象とした高解像実験の重要性. 日本気象学会 2019 年度春季大会講演予稿集 **115**: 341, 5 月, 渋谷区.
- Fujibe, F. 2019. Urban warming in Japan with relation to global climate change. International Workshop on Urban Climate Projection, October, Tsukuba.
- 藤部文昭 2019. 1903 年 9 月 23 日の東京淀橋小学校の竜巻災害. 日本気象学会 2019 年度秋季大会予稿集 **116**: 108, 10 月, 福岡.
- 藤部文昭・松本 淳 2020. 気候変動と暑熱に関連する新聞記事数経年変化. 2020 年日本地理学会春季学術大会発表要旨集 **97**: 122, 3 月, 世田谷区.
- 藤部文昭・松本 淳・鈴木秀人 2019. 市町村ごとのデータから見た熱中症・低温死亡率の分布特性. 日本気象学会 2019 年度春季大会講演予稿集 **115**: 288, 5 月, 渋谷区.
- 藤部文昭・松本 淳・鈴木秀人 2019. 熱中症による救急搬送率の地域性と変動—死亡率との比較. 日本ヒートアイランド学会第 14 回全国大会予稿集: 76-77, 9 月, 柏.
- 藤部文昭・松本 淳・鈴木秀人 2019. 熱中症による日々の救急搬送率と気象要素との関係. 日本気象学会 2019 年度秋季大会予稿集 **116**: 163, 10 月, 福岡.

- 釜堀弘隆・藤部文昭・松本 淳 2019. 関東・東海地方の降水量観測データレスキュー. 日本気象学会 2019 年度春季大会講演予稿集 **115**: 44, 5 月, 渋谷区.
- 濱田純一・松本 淳・鴨川 仁・高橋幸弘 2019. 大気電界計測による首都圏の雷雲活動に関する研究. 第 13 回 MU レーダー／赤道大気レーダーシンポジウム, 9 月, 宇治.
- 濱田純一・松本 淳・井上知栄・鴨川 仁・高橋幸弘 2020. 大気静電界観測に基づく東京多摩地域の雷雲活動に関する研究 -2019 年 5 月 4 日降電事例解析-. 2020 年日本地理学会春季学術大会発表要旨集 **97**: 318, 3 月, 世田谷区.
- 濱田純一・松本 淳・山中大学・Hasan, S.・Syamsudin, F. 2019. インドネシア・ジャカルタにおける降水季節変化とその長期変動. 日本気象学会 2019 年度春季大会講演予稿集 **115**: 74, 5 月, 渋谷区.
- Hamada, J.-I., Matsumoto, J., Yamashita, K., H. Kamogawa, and Takahashi, Y. 2019. Monitoring for lightning activities and thunder cloud developments over the Tokyo metropolitan area during the 2018 summer. Abstract of the Japan Geosciences Union Meeting 2019: MIS05-P04, May, Chiba.
- Estrebillon, L., Sato, M., Takahashi, Y., Kubota, H., Yamashita, K., Hamada, J.-I. and Marciano, J. 2019. Estimation of lightning location using V-POTEKA lightning observation network. Abstract of the Japan Geosciences Union Meeting 2019: MIS05-07, May, Chiba.
- Katsumata, M., Mori, S., Hamada, J.-I., Hattori, M., Syamsudin, F. and Yamanaka, M.D. 2019. Diurnal cycle over a coastal area of the maritime continent as derived by special networked soundings over Jakarta during HARIMAU2010. Abstract of the Asia Oceania Geosciences Society 2019 Meeting: AS28-D3-PM1-P-154, July, Singapore.
- Kubota, H., Takahashi, Y., Sato, M., Yamashita, K. and Hamada, J.-I. 2019: ULAT SATREPS – Observation study for the lightning activity and tropical cyclone intensity relationship in the Philippine Sea. AsiaPEX Kick-off Conference, August, Sapporo.
- Mori, S., Katsumata, M., Hamada, J.-I., Sulistyowati, R., Lestari, S. and Syamsudin, F. 2019. Jakarta Heavy precipitation Experiment (JaHE), a new field study on the IMC coastal hydrological cycle climatology. *Abstract of the Australian Meteorological and Oceanographic Society (AMOS) National Radar Workshop*, November, Clayton, Australia.
- Mori, S., Hamada, J.-I., Souma, K., Kanamori, H. and Syamsudin, F. 2019. JAKarta Heavy Precipitation Experiment (JAHE), a new Kakenhi based field study on the MC coastal hydrological cycle climatology. AsiaPEX Kick-off Conference, August, Sapporo.
- Mori, S., Hamada, J.-I., Wu, P., Shirooka, R., Yokoi, S., Yoneyama, K., Haryoko, U., Nurahyati, N., Sulistyowati, R. and Syamsudin, F. 2019. Convections and lightning activities over the southwestern coastal area of Sumatra Island, Indonesia, observed during the Pre-YMC 2015 and YMC-Sumatra 2017 campaigns. *Abstract of the European Geosciences Union General Assembly 2019*: EGU2019-3856/AS1.38, April, Vienna, Austria.
- Mori, S., Hamada, J.-I., Wu, P., Shirooka, R., Yokoi, S., Yoneyama, K., Haryoko, U., Nurhayati, N.,

- Sulistiyowati, R. and Syamsudin, F. 2019. Convections and lightning activities over the southwestern coastal land of Sumatra island, Indonesia, observed during the Pre-YMC 2015 and YMC-Sumatra 2017 campaigns. Abstract of the Australian Meteorological and Oceanographic Society Annual Meeting and the International Conference on Tropical Meteorology and Oceanography (AMOS-ICTMO) 2019: #61/31, June, Darwin, Australia.
- 森 修一・濱田純一・伍 培明・城岡竜一・横井 覚・米山邦夫・Urip Haryoko・Reni Sulistyowati・Fadli Syamsudin 2019.スマトラ南西沿岸陸域における対流日変化と雷活動：YMC 集中観測より. 日本気象学会 2019 年度秋季大会講演予稿集 **116**, 137, 10 月, 福岡.
- Sato, M., Takahashi, Y., Kubota, H., Yamashita, K., Hamada, J.-I. and Marciano, J. 2019. Relation between lightning and typhoon activities (Typhoon LAN) in the western Pacific region. Abstract of the Japan Geosciences Union Meeting 2019: MIS05-04, May, Chiba.
- Sato, M., Takahashi, Y., Kubota, H., Yamashita, K., Hamada, J.-I. and Marciano, J. 2019. Prediction of the typhoon intensity development by monitoring lightning activity. Abstract of the Asia Oceania Geosciences Society 2019 Meeting: AS47-D4-PM2-302-003, August, Singapore.
- Takahashi, Y., Sato, M., Kubota, H., Yamashita, K., Hamada, J.-I., Castro, E., Ishida, T., Estrebillo, L, Pulutan, D. and Purwadi. 2019. Monitoring of typhoon and thunderstorms using micro-satellites and ground-based lightning networks. *Abstract of the European Geosciences Union General Assembly 2019*, EGU2019-12625/AS1.38, April, Vienna, Austria.
- Inoue, T., Matsumoto, J. and Kubota, H. 2019. Data rescue activities of daily rainfall before the early 20th century and rainfall variations for the past 125 years (1891-2015) in Myanmar (Burma). Kick-off Workshop: Rain, Water, and Rice in Modern Burma, November, Bunkyo-ku.
- 木口雅司・岡見菜生子・村田文絵・田上雅浩・福島あずさ・山根悠介・寺尾 徹・林 泰一・沖 大幹・井上知栄・松本 淳 2019. バングラデシュにおける 126 年日降水量を用いた降水特性の変化. 日本気象学会 2019 年度春季大会講演予稿集 **115**: 73, 5 月, 渋谷区.
- Kiguchi, M., Okami, N., Murata, F., Tanoue, M., Fukushima, A., Yamane, Y., Terao, T., Hayashi, T., Oki, T., Inoue, T., and Matsumoto, J. 2019. Change of rainfall characteristics in Bangladesh and Sri Lanka using more than 100-years record. Abstract of the American Geophysical Union Fall Meeting 2019: A23H-3016, December, San Francisco, USA.
- 村田文絵・寺尾 徹・木口雅司・福島あずさ・田上雅弘・林 泰一・井上知栄・松本 淳 2019. バングラデシュにおける 1891-2016 年の日降水量データを用いた降水分布特性の経年変化. 日本気象学会 2019 年度春季大会講演予稿集 **115**: 189, 5 月, 渋谷区.
- 村田文絵・寺尾 徹・山根悠介・木口雅司・福島あずさ・田上雅弘・林 泰一・井上知栄・松本 淳 2019. バングラデシュにおけるプレモンスーン降水をもたらす総観場. 日本気象学会 2019 年度秋季大会講演予稿集 **116**: 195, 10 月, 福岡.
- 神澤 望・高橋 洋 2019. 2018 年 7 月に日本で起きた高温現象に対する太平洋・日本パターンの役割と夏季アジアモンスーンの季節進行との関係性. 第 11 回熱帯気象研究会), 12

- 月, 富山.
- 神澤 望・高橋 洋 2020. 2018 年 7 月に日本で発生した高温現象時への太平洋・日本パターンの影響と夏季アジアモンスーンの季節進行の関係性. 2020 年日本地理学会春季学術大会要旨集 **97**: 132, 3 月, 世田谷区.
- 中島 虹・常松展充・高橋日出男 2019. 東京都心域の冬季晴天弱風夜間における温位鉛直分布の経年変化. 2019 年日本地理学会秋季学術大会発表要旨集 **96**: 30, 9 月, 新潟.
- 中島 虹・高橋日出男・菅原広史・常松展充 2019. 温度プロファイラー観測による冬季晴天日の東京都心域における都市境界層の特徴. 2019 年日本地理学会秋季学術大会都市気候環境研究グループ研究例会, 9 月, 新潟.
- 中島 虹・常松展充・横山 仁・出世ゆかり・高橋日出男 2019. 2019 年 5 月 4 日に東京都内で発生した短時間強雨時の降水量分布と地上風系の関係. 日本気象学会 2019 年度秋季大会講演予稿集 **113**: 148, 10 月, 福岡.
- Nodzu, M. I. 2019. Reviewing Asian Monsoon Years (AMY): Sec. 3.5.1 description -as an example for coordinated obs. & modeling initiatives-. AsiaPEX International SSG Workshop, September, Nagoya.
- Nodzu, M. I. 2020. River basin scale validation of the GSMaP rainfall estimation over Vietnam. The International Workshop on Asian Monsoon Climate, January, Hachioji.
- 野津雅人・松本 淳・Trinh-Tuan, L.・Ngo-Duc, T.・Truong, D.T. 2019. GSMaP サブデイリースケール降水のヴェトナム北部における検証. 日本気象学会 2019 年度春季大会講演予稿集 **115**: 339, 5 月, 渋谷区.
- Nodzu, M. I., Matsumoto, J., Trinh-Tuan, L., Ngo-Duc, T. and Duc-Tri, T. 2019. Toward improvement in estimate of precipitation in higher resolution with surface gauge, radar and satellite observations in Vietnam. AsiaPEX Kick-off Conference, August, Sapporo.
- Nodzu, M. I., Matsumoto, J., Trinh-Tuan, L., Ngo-Duc, T. and Truong-Duc, T. 2019. Performance of Global Satellite Mapping of Precipitation (GSMaP) estimate over northern Vietnam. The 39th International Conference on Radar Meteorology, September, Nara. (Poster)
- Nodzu, M. I., Matsumoto, J., Watanabe, T., Seto, Y., Nakajima, K. and Matsuzaki, Y. 2019. A promising new observation in the AsiaPEX – an unmanned aerial vehicle observation of evolution in the lower boundary layer in the morning. AsiaPEX Kick-off Conference, August, Sapporo. (Poster)
- 野津雅人・松本 淳・瀬戸芳一・渡邊貴典・中島 虹・松崎祐太・Olaguera, L.M.・齋藤有希 2019. 冬季晴天弱風日における朝の下部境界層時間変化の UAV による観測. 日本気象学会 2019 年度秋季大会講演予稿集 **116**: 399 10 月, 福岡.
- 野津雅人・重田祥範・多田楽空・大谷一貴・牧園善樹・吉田 聡・松本 淳・Lyndon M. Olaguera・渡邊貴典・瀬戸芳一・中島虹・井上知栄・濱田純一・松崎祐太・齋藤有希 2020. 潮岬風力実験所における UAV を用いた接地境界層の気温・湿度観測. 海洋観測データの統合解析に向けた研究集会, 2 月, 串本.

- 野津雅人・重田祥範・吉田 聡・多田楽空・大谷一貴・牧園善樹・松本 淳 2019. 下部境界層の気温・相対湿度・風鉛直分布の UAV・係留気球・パイロットバルーン観測間比較. 日本気象学会 2019 年度秋季大会講演予稿集 **116**: 151, 10 月, 福岡.
- 野津雅人・渡邊貴典・瀬戸芳一・松本 淳・Lyndon M. Olaguera・中島 虹・井上知栄・濱田純一・松崎祐太・斎藤有希・重田祥範・多田楽空・大谷一貴・牧園善樹・吉田 聡 2020. 産業用ドローンを用いた大気接地境界層の観測. 気象測器研究会, 2 月, 千代田区.
- Ogino, S.-Y., Miyazaki, K., Fujiwara, M., Nodzu, M. I., Shiotani, M., Hasebe, F., Matsumoto, J., Witte, J., Thompson, A., Nguyen, H.A., and Nguyen V.T. 2019. Lower-tropospheric high-ozone layer over eastern edge of Indochina Peninsula revealed by ozonesondes in Hanoi, Vietnam. The 4th Atmospheric Composition and Asian Monsoon (ACAM) 2019 Workshop, June, Bangi, Malaysia.
- 荻野慎也・宮崎和幸・藤原正智・野津雅人・塩谷雅人・長谷部文雄・松本 淳・Witte, J.・Thompson, A.・Nguyen H.A.・Nguyen V.T. 2019. 春季の東南アジア下部対流圏におけるオゾン増大：発生メカニズムと 3 次元構造. 第 13 回 MU レーダー／赤道大気レーダーシンポジウム, 9 月, 宇治.
- 荻野慎也・宮崎和幸・藤原正智・野津雅人・塩谷雅人・長谷部文雄・松本 淳・Witte, J.・Thompson, A.・Nguyen T.H.A.・Nguyen V.T. 2019. 東南アジアにおける下部対流圏春季のオゾン増大現象. 日本気象学会 2019 年度秋季大会講演予稿集 **116**: 483, 10 月, 福岡.
- 重田祥範・吉田 聡・野津雅人・多田楽空・大谷一貴・牧園善樹 2019. 係留気球と GPS ラジオゾンデによる気温・相対湿度の観測 - 下層大気内における計測値の品質評価 -. 日本気象学会 2019 年度秋季大会講演予稿集 **116**: 150, 10 月, 福岡.
- 渡邊貴典・野津雅人・瀬戸芳一・松本 淳 2019. 2018 年 7 月猛暑におけるフェーン現象発生時の関東平野の大気構造. 日本気象学会 2019 年度秋季大会講演予稿集 **116**: 222, 10 月, 福岡.
- 吉田 聡・西村卓也・有吉慶介・飯沼卓史・西田周平・町田祐弥・宮澤泰正・美山 透・内田裕・永野 憲・脇田昌英・藤田実季子・桑谷 立・藤原 周・木元克典・中野善之・川合義美・渡辺真吾・市川 香・長谷川拓也・藤 亜希子・小松幸生・立花義裕・渡来 靖・中村祐輔・平田英隆・重田祥範・野津雅人・箕輪昌裕・高島祐弥・井上修平・岩堀太紀・及び新青丸・勢水丸・潮岬集中観測チーム 2019. 紀伊半島沖大気・海洋・海底貫通同時観測. 日本気象学会 2019 年度秋季大会講演予稿集 **116**: 403, 10 月, 福岡.
- 瀬戸芳一・高橋日出男 2020. 関東平野における近年の風系変化の把握に向けた地表面粗度による観測風の補正手法. 2020 年日本地理学会春季学術大会発表要旨集 **97**: 316, 3 月, 世田谷区.
- Seto, Y., Shoji, Y., Tsunematsu, N. and Takahashi, H. 2019. Relationships between water vapor concentration index derived from GNSS and surface wind convergence during localized heavy rainfall in Tokyo in summer. *Abstracts of JpGU Meeting 2019*: MTT46-P06, May, Chiba.
- 藤原周平・松本 淳 2019. 韓国の夏季における降水特性の長期変化. 日本気象学会 2019 年

- 度秋季大会講演予稿集 **116**: 372, 10 月, 福岡.
- 松崎祐太・松本 淳 2019. 北半球冬季における海洋大陸の風系分類とその年々変動. 日本気象学会 2019 年度秋季大会講演予稿集 **116**: 424, 10 月, 福岡.
- Olaguera, L.M., Matsumoto, J., Kubota, H., Inoue, T., Cayanan, E.O. and Hilario, F.D. 2019. Interdecadal shifts in the winter monsoon rainfall of the Philippines. Abstract of the Asia Oceania Geosciences Society 2019 Meeting: AS03-A001, July, Singapore.
- 山地萌果・松本 淳 2020. 衛星全球降水マップ GSMaP の概要と地理教育分野での活用. 2020 年日本地理学会春季学術大会発表要旨集 **97**: 38, 3 月, 世田谷区.
- Yamaji, M., Takahashi, H. G., Kubota, T., Oki, R., Hamada, A., and Takayabu. Y. N. 2019: Global drop size distribution observed by GPM/DPR. Poster1-01, 39th International Conference on Radar Meteorology, September, Nara.
- 山地萌果, 高橋 洋, 久保田拓志, 沖 理子, 濱田 篤, 高薮 縁. 2019: GPM/DPR で得られた全球規模での雨滴粒径と降水特性の関係. 日本気象学会 2019 年度秋季大会講演予稿集 **116**: 447, 2019 年 10 月, 福岡.
- 北林 翔・高橋 洋 2019. ENSO の位相に対する火山噴火の地表気温への影響の依存性. 日本気象学会 2019 年度春季大会講演予稿集 **115**: 252, 5 月, 渋谷区.
- 北林 翔・高橋 洋 2019. 大規模火山噴火後の地表気温応答—ENSO の位相による違い—. 日本気象学会 2019 年度秋季大会講演予稿集 **116**: 363, 10 月, 福岡.
- 北林 翔・高橋 洋 2020. 大規模火山噴火後の地表気温応答の評価 —ENSO との関連性—. 2020 年日本地理学会春季学術大会発表要旨集 **97**: 239, 3 月, 世田谷区.
- 小原亘広 2020. 黒潮流路に着目した関東地方の降雪と南岸低気圧経路との関係. 2019 年度全国地理学専攻学生 卒業論文発表大会, 3 月, 小金井.

3 環境地理学研究室

1) スタッフ

教授	渡邊真紀子
准教授	川東正幸
客員研究員	坂上伸生
協力研究員	大里陽一・加藤早百合・木田仁廣・田代 崇・谷野喜久子・野々山弥・茗荷 傑・森下瑞貴
大学院（博士後期課程）	Batdulam Battulga・Sasirin Srisomkiew・Nyamsanjaa Khulan
大学院（博士前期課程）	柿崎健士・西倉瀬里
卒論生	高橋直大・遠藤郁・小田千晴・松本航也・松田知夏・田村 岳・栗原茜太・徳間達也・星野佑太郎

2) 研究概要

この研究室では、環境と人間とのダイナミックな関係に着目しながら、地域・地球環境の変化あるいは改変をいろいろな時・空間スケールの局面でとらえて、総合的に理解しようとする研究を展開している。そのため、自然地理学を基礎にして、土壌学、植物生態学、植物社会学、微生物学、菌学、林学、環境化学、情報科学、文化財科学などの諸科学と密接な連携を保ちながら、幅広い研究活動を行っている。研究手法としては、現地での土壌調査、動植物調査、陸水調査、聞き取り調査などの調査・モニタリング観測を基本としているが、リモートセンシングデータ等の利用・解析および現地で採取した各種の環境試料の理化学分析による環境動態の把握、分析・調査法の開発にも取り組んでいる。研究地域は国内から広く海外に及び、海外では、ヨーロッパ、ロシア、中国、東南アジア、北アフリカの各地域で、寒帯・熱帯・亜熱帯・半乾燥・砂漠地域の環境変化と人間対応の研究に重点を置いている。最近の主要なテーマには、以下のものがある。

1. 都市土壌の土壌調査技術の開発と性状・機能の解明と分類・評価手法の開発
2. 冷温帯林の物質循環と土壌生態システムの解明
3. エジプト西方砂漠における遺跡・水資源に関する地考古学的研究
4. フィリピン・ルソン島丘陵地帯における小規模溜池灌漑をとりまく環境動態の解析
5. 流域の人為圧が下流域の水環境に及ぼす影響の解明
6. 陸域生態系での火災の地形、植生、土壌に及ぼす影響の評価
7. 都市生態系における炭素・窒素収支の解明
8. 土壌の炭素貯留ポテンシャルと母材との関係

【研究業績】

原著論文・展望論文(査読付きの論文)

- Lathifah, A.N., Guo, Y., Sakagami, N., Suda, W., Higuchi, M., Nishizawa, T., Prijambada, I.D., Ohta, H. 2019. Comparative characterization of bacterial communities in moss-covered and unvegetated volcanic deposits of Mount Merapi, Indonesia. *Microbe and Environment* **34**: 268–277.
- Sakoda, M., Mizusawa, M., Shiotsu, F., Sakagami, N., Guo, Y., Masutomi, Y., Fujii, D., Isobe, K., Fujiwara, T., Senoo, K., Nishizawa, T. 2019. Azoarcus sp. strain KH32C affects rice plant growth and the root-associated soil bacterial community in low nitrogen input paddy fields. *Soil Science and Plant Nutrition* **65**: 451-459.
- Battulga, B., Kawahigashi, M., Oyuntsetseg, B. 2020. Behavior and distribution of polystyrene foams on the shore of Tuul River in Mongolia. *Environmental Pollution*. **260**: 113979. <https://doi.org/10.1016/j.envpol.2020.113979>.

その他の論文(査読なしの論文, 紀要・単行本の分担執筆を含む)

- 川東正幸 2020. 土壌のモニタリングとアセスメント. 「土壌環境学」, 朝倉書店, pp159-171.
- 川東正幸 2020. 環境計画に基づく土壌質の改善と管理. 「土壌環境学」, 朝倉書店, pp172-184.
- 川東正幸・村田智吉・木田仁廣・乾 徹・永石憲道・森貞和仁・吉永明宏 2019. 人為圧が決める土壌の境界線. 日本土壌肥料学会誌 **90**: 217-222.
- 隅田裕明・井上 弦・川東正幸・小林孝行・町田 洋・三浦英樹・竹迫 紘・天野健一・北 直裕 2019. 富士山噴火は土壌, 農業へどのような影響を与えたのか—学際的視点からみる関東南部—. 日本土壌肥料学会誌 **90**: 223-229.
- Sakagami, N., Liyantono, C.B., Kato, T. and Ramri, N. 2020. Collaborative education toward regional sustainability in association with Bogor Agricultural University - International summer course program on agriculture and ecosystem resilience to environmental disaster in Java, Indonesia. International Workshop on Natural Resources and Risk Management in the Context of Climate Change, Hanoi University of Natural Resources and Environment, 369–375.
- Myoga, S. 2020. Transition and potential of the land function of the “Tokushachi”(Bare lands) in the Seto District, Aichi, Japan. *Geographical Report of Tokyo Metropolitan University* **55**: 49-59.
- 田代 崇・渡邊眞紀子・赤坂郁美・坂上伸生・村田智吉 2019. 自然教育園ひょうたん池集水域の土壌. 自然教育園報告 **50**: 21-28.
- Battulga, B., Kawahigashi, M., Oyuntsetseg, B. 2020 Abundance of microplastics in sediments from the urban river in Mongolia. *Geographical reports of Tokyo Metropolitan University* **55**: 35-48.

編著書 (単著・共著・編集など、分担執筆は含まない)

なし

報告書

- 西倉瀬里 2019. 第 28 回ペドロジスト・トレーニングコースに参加して. ペドロジスト. **63**:

102-104.

書評

なし

その他の報文(技術レポート, 商業誌, 解説・雑録など)

なし

講演・学会発表

Kawahigashi, M. and Orgilbold, M. 2019. Role of suspended solids (SS) on elemental dynamics in the Selenga River system. *Abstract of the Japan Geosciences Union 2019: AHW22-17*, May, Chiba. (invited)

Kawahigashi, M., Kida, K. and Ibori, Y. 2019. How do we recognize soils in reclaimed areas? *Abstract of the Soils of Urban Industry Traffic Mining and Military Areas (SUITMA10): A-074*, June, Seoul, Korea.

川東正幸 2019. 都市化が市街地土壌に求める多様な役割. 「土と持続可能な開発目標 (SDGs)」日本学術会議公開シンポジウム, 9月, 港区.

川東正幸・木田仁廣・井堀雄介 2019. 造成緑地における植栽年度と土壌特性の関係. 日本土壌肥料学会静岡大会講演要旨集 **65**: 74, 9月, 静岡.

川東正幸 2019. 東京湾岸の造成緑地に関する研究. 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所東北支所創立 60周年記念シンポジウム「津波に“ねばり”強い海岸林の再生に向けて」, 11月, 盛岡.

Kawahigashi, M. and Kida, K. 2019. Specific features in soil processes of the reclaimed soils in Japan. *Abstract of the 14th International Conference of the East and Southeast Asia Federation of Soil Science Societies (ESAFS): 168*, November, Taipei, Taiwan.

Ono, K., Noguchi, H., Imai, A., Ugawa, Y., Komoriya, A., Tachibana, R., Kida, K. and Kawahigashi, M. 2019. Banking and reclaimed soils constructed for restoring the coastal forests as their growing bases in Japan: morphology and physical properties. *Abstract of the Soils of Urban Industry Traffic Mining and Military Areas (SUITMA10): A-044*, June, Seoul, Korea.

堀 心佑・浅木直美・坂上伸生・望月佑哉・小林 久・宮本 隆 2020. 水稲の生育および収量に対する高純度マグネシウム資材の施用効果. 日本作物学会第 249 回講演会, 3月, つくば (開催中止, 要旨公表)

福島慶太郎・吉村佳一郎・堅田元喜・坂上伸生・榎本忠夫・高瀬 唯・及川真平 2020. クズの繁茂した高速道路法面における除草剤散布が窒素流出に及ぼす影響. 日本生態学会第 67 回大会, P2-PC-382, 3月, 名古屋 (開催中止, 要旨公表)

高瀬 唯・堅田元喜・及川真平・榎本忠夫・坂上伸生 2019. 側道から見た高速道路の盛土法面に繁茂するクズに対する市民の景観評価. 令和元年度日本造園学会関東支部大会梗概集/事例・研究報告集 **37**: 95-96, 11月, 千葉.

堅田元喜・渡邊未来・高橋晃子・福島慶太郎・久保田智大・及川真平・高瀬 唯・榎本忠夫・

- 坂上伸生 2019. 高速道路盛土法面の植生が及ぼす大気質への局地的影響の予備的観測. 第 60 回大気環境学会年会講演要旨集, 9 月, 東京.
- 野口 愛・高田圭太・橋本実佳・松下紗季・坂上伸生・郭 永・西澤智康・太田寛行・成澤才彦 2019. 根部エンドファイト *Veronaeopsis simplex* Y34 のトマト根部微生物叢への時空間的な影響. 日本微生物生態学会講演要旨集 **118**, 9 月, 山梨.
- Guo, Y., Takashima, Y., Sakagami, N., Narisawa, K. and Nishizawa, T. 2019. Comparative metagenomic insights into functional diversification of soil microbiome across a vegetation gradient on the deforested land around Komado wetland. 日本土壤微生物学会年度大会 2019 年度大会講演要旨集: **32**, 6 月, 札幌.
- Lathifah, A.N., Guo, Y., Sakagami, N., Suda, W., Higuchi, M., Nishizawa, T., Prijambada, I.D. and Ohta, H. 2019. Succession of Betaproteobacteria in the 2010 volcanic deposits of Mt. Merapi, Indonesia. 日本土壤微生物学会 2019 年度大会講演要旨集: **37**, 6 月, 札幌.
- Arsyadi, A., Ebihara, A., Guo, Y., Sakagami, N., Ohta, H. and Nishizawa, T. 2019. Integrative analysis of denitrifier community harbored in miscanthus rhizosphere, a pioneer grass on Miyake-jima volcanic deposits, Japan. 日本土壤微生物学会 2019 年度大会講演要旨集: **38**, 6 月, 札幌.
- 野口 愛・高田圭太・橋本実佳・松下紗季・坂上伸生・郭 永・西澤智康・太田寛行・成澤才彦. *Veronaeopsis simplex* Y34 接種トマトの根圏微生物叢の経時的モニタリング. 日本土壤微生物学会 2019 年度大会講演要旨集: **14**, 6 月, 札幌.
- Kida, K. and Kawahigashi, M. 2019. Differences in classification concepts for human modified soils: Comparison among World Reference Base for Soil Resources, Soil Taxonomy, and Japanese soil classification system. *Abstract of the Soils of Urban Industry Traffic Mining and Military Areas (SUITMA10)*: A-066, June, Seoul, Korea.
- 木田仁廣・川東正幸 2019. 硫黄の貯留形態に着目した盛土造成材料の識別. 日本土壤肥料学会講演要旨集 **65**: 77, 9 月, 静岡.
- 森下瑞貴・川東正幸 2019 地形因子を考慮した日本の泥炭・黒泥分類への提言. 日本土壤肥料学会講演要旨集 **65**: 75, 9 月, 静岡.
- 森下瑞貴・Sprague D. 2019. 人工知能(AI)は土壤生成を学習できるか?—地理情報システム(GIS)データを活用して—. 日本ペドロロジー学会 2019 年度大会講演要旨集: **37**, 11 月, 山口.
- Batdulum, B., Kawahigashi M. and Bolormaa, O. 2019. Behavior of plastic debris in Mongolian river system and characterization for aged microplastics. European Geoscience Union General Assembly 2019: EGU2019-6485, April, Vienna, Austria.
- Batdulum, B., Kawahigashi, M. and Bolormaa O. 2019. Characterization, distribution and degradation of environmental plastics in inland river system of Mongolia. Japan Geoscience Union Meeting 2019: AHW22-12, May, Chiba.
- Srisomkiew, S., Kawahigashi, M. and Limthong, P. 2019. Digital soil mapping of soil fertility for Thai

- jasmine rice using remote sensing and terrain parameters employing machine learning in Thung Kula Rong-Hai region, Thailand. *Abstract of the 14th International Conference of the East and Southeast Asia Federation of Soil Science Societies (ESAFS)*: **64**, November, Taipei, Taiwan.
- Nishikura, S. and Kawahigashi M. 2019. Difference of vegetation and soil properties in Isahaya Polder. *Abstract of the Soils of Urban Industry Traffic Mining and Military Areas (SUITMA10)*: A-101, June, Seoul, Korea.
- 西倉瀬里・川東正幸 2019. 異なる土壌構造が生成する干拓地土壌. 日本土壌肥料学会講演要旨集 **65**: 79, 9月, 静岡.
- 西倉瀬里・川東正幸 2019. 干拓後の経過年数と土壌構造の発達の関係性. 日本ペドロロジー学会 2019 年度大会講演要旨集: **40**, 11月, 山口.
- 西倉瀬里・川東正幸 2019. 干拓地における土地利用と土壌構造の発達. 日本土壌肥料学会 関東支部大会講演要旨集: **16**, 11月, 長野.
- 田村 岳・ニャムサンジャ フラン・渡邊眞紀子・ボロルマ オユンツェツェク 2020. ウランバートル北部バルーンサラエ地区における植生景観としてのエコトーン. 日本地理学会春季学術大会発表要旨集 **97**: 302, 3月, 東京.

4 地理情報学研究室

1) スタッフ

教授	松山 洋
助教	泉 岳樹, 中山大地
特任研究員	渡邊貴典
客員准教授	Khromykh, V., Khromykh, O. (2019年9月)
客員研究員	齋藤 仁
協力研究員	瓜田真司 (2019年6月～) 尾身 洋, 小池崇子, 南里翔平, 根元裕樹, 長谷川宏一, 久富悠生, 藤塚吉浩 (2019年10月～)
大学院生 (博士後期課程)	石川和樹, 山本遼介 (2019年度休学)
大学院生 (博士前期課程)	齋藤有希, 長谷川聖矢, 童 一川
卒論生	川添洋介, 篠原遼太, 田中綾乃, 田谷天衣那, 中村圭汰, フローレス慈英, 堀井洋輔, 三浦拓也
4年生	渡邊恵理香

2) 研究概要

本研究室では、主に、地形・気候・水文・植生などから構成される自然環境についての総合的理解を目指している。具体的には、質量保存・エネルギー保存・運動方程式などの物理法則に基づいて、原因から結果を説明しようとするアプローチと、フィールドでの調査・観測に基づいて事実を実証的に示そうとするアプローチを組み合わせ研究を進めている。このため、定量的データの収集・マッピング・統計解析・数値モデル・GIS (地理情報システム) などが主要な研究手法となっている。

教員の研究と大学院生・卒論生の指導、および地理環境科学調査法 IV を通じて取り組んでいきたいテーマには次のようなものがある。

1. 大気圏・水圏のエネルギーと水の循環に関する研究
2. 積雪分布および積雪水資源量の把握と融雪一流出に関する研究
3. 針葉樹の分光反射特性と葉面積指数の定量的評価に関する研究
4. 阿蘇周辺および東京周辺の水環境に関する研究
5. 都市気候と局地風の数値シミュレーションに関する研究
6. GIS を活用した都市の地表面状態の把握に関する研究
7. 自然環境と自然災害のモニタリング・モデリングに関する研究
8. 近代東京における地理的事象の定量的把握

3) 研究成果 (2019 年度)

原著論文・展望論文 (査読付きの論文)

松山 洋・坂和佑一・土橋亨子・小倉紀雄 2019. 秋留台地の湧水ではなぜ電気伝導度が低下しているのか? 水文・水資源学会誌 **32**: 231-244.

Matsuyama, H., Flores, J., Oikawa, K. and Miyaoka, K. 2020. Comparison of precipitable water via JRA-55 and GPS in Japan considering different elevations. *Hydrological Research Letters* **14**: 9-16.

Marc, O., Gosset, M., Saito, H., Uchida, T. and Malet J.-P. 2019. Spatial patterns of storm-induced landslides and their relation to rainfall anomaly maps. *Geophysical Research Letters* **46**: 11167-11177.

Ishikawa, K. and Nakayama, D. 2019. Estimation of origin-destination flows of passenger cars in 1925 in old Tokyo City, Japan. *International Journal of Geo-Information* **8**, 472: DOI:10.3390/ijgi8110472.

その他の論文 (査読なしの論文、紀要・単行本の分担執筆を含む)

根元裕樹 2019. 目白大学新宿キャンパス通学時の災害認識に関する研究. 目白大学短期大学部研究紀要 **55**: 71-83.

根元裕樹 2020. WebGIS を用いた目白大学新宿キャンパス周辺災害マップの開発. 目白大学短期大学部研究紀要 **56**: 71-84.

長谷川宏一 2019. 地理・地学が連携した野外実習における主体的学習を促す教材開発一箱根ジオパークを舞台に-. 日本私学教育研究所紀要 **55**: 33-36.

編著書 (単著・共著・編集など、分担執筆は含まない)

なし

報告書

松山 洋 2020. 2019 年 ゴルノ=アルタイスク (ロシア) 出張報告. 水文・水資源学会誌 **33**: 11-16.

松山 洋・坂和佑一・長井彩綾 2020. あきる野市の湧水における水質の変化-1990 年代と 2010 年代を比較して-. 多摩川中上流域上総層群調査研究プロジェクト報告書: 184-190.

松山 洋・岩佐竜英・長井彩綾 2020. 昭島市の東西における地下水水質の違い-浅層地下水と深層地下水の比較-. 多摩川中上流域上総層群調査研究プロジェクト報告書: 191-195.

久富悠生 2020. 青梅市における浅層地下水の降雨応答性に関する研究. 多摩川中上流域上総層群調査研究プロジェクト報告書: 196-200.

書評

松山 洋 2019. 書評 (永山ゆかり・吉田 睦編: アジアとしてのシベリア ロシアの中のシベリア先住民世界). 地理学評論 **92**: 194-195.

松山 洋 2019. 書評 (Martin F. Price 著, 渡辺悌二・上野健一訳: 山岳). 地理学評論 **92**: 247-

248.

松山 洋 2019. 書架 (Pyak, A. I. et al. Endemic plants of the Altai mountain country) . 地理 **64**(8): 120.

松山 洋 2019. 書評 (島津 弘・伊藤徹哉・立正大学地理学教室編: 地理を学ぼう 海外エクスカーション) . 地理学評論 **92**: 314-315.

松山 洋 2019. 書評 (山崎晴雄: 富士山はどうしてそこにあるのかー地形から見る日本列島史) . 地理学評論 **92**: 405-406.

松山 洋 2020. 書評 (嘉数 啓: 島嶼学) . 地理学評論 **93**: 40-41.

松山 洋 2020. 書評 (中澤哲夫: 台風予測の最前線) . 地理学評論 **93**: 109-110.

その他の報文 (技術レポート、商業誌、解説・雑録など)

松山 洋 2019. 五十の手習い: 「まいにちロシア語」. 山路 (TWV OB 会通信・巻機山荘) No. 11: 73.

松山 洋 2019. 松山 洋さんとの対談. 山路 (TWV OB 会通信・巻機山荘) No.11 :74.

根元裕樹・夏目宗幸 2019. Leaflet を用いた WebGIS 作成システムの開発. GIS－理論と応用 **27**: 154.

講演・学会発表

松山 洋 2019. 阿蘇山西麓を吹走する局地風「まつぼり風」に関するレビューと展望. 日本地球惑星科学連合大会: MIS20-17, 5月, 千葉. (招待講演)

Matsuyama, H. 2019. The application of Soil Water Index to landslide prediction in snowy regions－Sensitivity analysis in Japan and preliminary results at Tomsk, Russia－. Life and Earth Sciences and Sustainable Global and Regional Development (AKTRU2019) International Symposium, July, Gorno-Altai, Russia. (invited)

Nakayama, D. 2019. Geohazard map of Izu Islands, Japan. ESRI User Conference 2019, July, San Diego, USA. (poster)

中山大地・Khromykh, V.・Khromykh, O.・松山 洋 2019. ロシア・トムスク市における洪水避難シミュレーション. 日本地理学会秋季学術大会発表要旨集 **96**: 47, 9月, 新潟.

Khromykh, V. and Khromykh, O. 2019. The system for flood monitoring on the Ob River (within the Tomsk Region). *Proceedings of the General Meeting of the Association of Japanese Geographers 2019 Autumn Meeting* **96**: 48, September, Niigata.

渡邊貴典 2019. 大気再解析データ ERA5 における対流圏オゾンの検証. 第 60 回大気環境学会年会講演要旨集 **60**: 290, 9月, 東京. (ポスター)

渡邊貴典・野津雅人・瀬戸芳一・松本 淳 2019. 2018 年 7 月猛暑におけるフェーン現象発生時の関東平野の大気構造. 日本気象学会 2019 年度秋季大会講演予稿集 **116**: 222, 10 月, 福岡.

野津雅人・松本 淳・瀬戸芳一・渡邊貴典・中島 虹・松崎祐太・Olaguera, L. M.・齋藤有希 2019. 冬季晴天弱風日における朝の接地層発達過程の UAV による観測. 日本気象学会

- 2019 年度秋季大会講演予稿集 **116**: 399, 10 月, 福岡.
- 野津雅人・渡邊貴典・瀬戸芳一・松本 淳・Olaguera, L. M.・中島 虹・井上知栄・濱田純一・松崎祐太・斎藤有希・重田祥範・多田楽空・大谷一貴・牧園善樹・吉田 聡 2020. 産業用ドローンを用いた大気接地境界層の観測. 気象測器研究会, 2 月, 千代田区.
- 齋藤 仁・内山庄一郎 2019. 多時期のドローン調査に基づく斜面崩壊地と植生回復モニタリング. 第 22 回年次シンポジウム (CSIS DAYS 2019) 「全国共同利用研究発表大会」研究アブストラクト集: A10, 11 月, 柏. (ポスター)
- Saito, H., and Uchiyama, S. 2019. Multitemporal UAV surveys for detection of shallow landslides and vegetation recovery. *Abstracts of AGU Fall Meeting 2019*: NH33D-0937, December, San Francisco, U.S.A. (poster)
- Haneda, Y., Oguchi, T., Iizuka, K., Saito, H., Hayakawa, Y.S., and Uchiyama, S. 2019. Comparative study on shape and distribution of landslides caused by the 2012 Northern Kyushu heavy rainfall and the 2016 Kumamoto earthquake in the Aso region, Kumamoto, Japan. *Abstracts of Japan Geoscience Union Meeting 2019*: HTT19-P06, May, Makuhari. (poster)
- Marc, O., Gosset, M., Saito, H., Uchida, T., and Malet, J.P. 2019. Spatial patterns of storm-induced landslides and their relation to past extreme rainfall. *Abstracts of AGU Fall Meeting 2019*: EP53B-06, December, San Francisco, U.S.A.
- 小口 高・西村雄一郎・河本大地・新名阿津子・齋藤 仁 2019. 日本地理学会のツイッターアカウントの開設と初期運用. 日本地球惑星科学連合 2019 年大会: MG136-P03, 5 月, 幕張. (ポスター)
- 小口 高・山田育穂・早川裕弐・河本大地・齋藤 仁 2019. 日本地球惑星科学連合における地理学の位置づけと将来展望. 日本地球惑星科学連合 2019 年大会: U08-02, 5 月, 幕張.
- 根元裕樹・夏目宗幸 2019. Leaflet を用いた WebGIS 作成教材および作成システムの開発. 日本地理学会秋季学術大会発表要旨集 **96**: 88, 9 月, 新潟.
- 根元裕樹・夏目宗幸 2019. Leaflet を用いた WebGIS 作成システムの開発. 第 28 回地理情報システム学会研究発表大会梗概集 (CD-ROM) : E-1-3, 10 月, 徳島. (口頭発表およびポスター)
- 夏目宗幸・根元裕樹 2019. GIS を用いた民俗学研究との対話—水路に関する口頭伝承の分析. 第 28 回地理情報システム学会研究発表大会梗概集 (CD-ROM) : B-6-1, 10 月, 徳島.
- 藤塚吉浩 2020. 東京都心周辺部におけるジェントリフィケーション. 日本地理学会春季学術大会発表要旨集 **97**: 100, 3 月, 世田谷区.
- 石川和樹 2019. 東京都心の鉄道乗客数は 1930 年からどれだけ増えたのか—現在の駅とかつて同じ場所にあった停留場の乗客数の比較—. 第 15 回 GIS コミュニティフォーラム, 5 月, 港区. (ポスター)
- Ishikawa, K. 2019. Time-series map of the number of streetcar passengers in 1930 in old Tokyo City,

- Japan. 2019 Esri User Conference, July, San Diego, USA. (poster)
- 石川和樹 2019. 1930 年東京市電のマルチエージェント・シミュレーション. 日本地理学会 春季学術大会発表要旨集 **96**: 95, 9 月, 新潟.
- 石川和樹 2019. エージェントベースモデルによる東京市電の分析－1931 年運転系統改正前後の比較－. 第 28 回地理情報システム学会研究発表大会梗概集 (CD-ROM) : E32, 10 月, 徳島.
- 石川和樹 2019. マルチエージェントシミュレーションによる昭和初期東京市電の再現. 第 22 回年次シンポジウム (CSIS DAYS 2019) 「全国共同利用研究発表大会」研究アブストラクト集: 54, 11 月, 柏. (ポスター)
- Ishikawa, K. and Nakayama, D. 2019. Streetcar passenger flow maps in old Tokyo City in 1930. International Cartographic Association, July, Tokyo.
- 田中綾乃・渡邊貴典・金田康世・松山 洋・宮岡健吾 2019. 可降水量に着目した九州北部豪雨の解析－平成 29 年と平成 24 年の比較－. 日本気象学会 2019 年度春季大会講演予稿集 **115**: 198, 5 月, 渋谷区. (ポスター)
- フローレス慈英 2020. 小笠原諸島における降水量の季節変化に及ぼす台風の影響～エルニーニョ年, ラニーニャ年, 通常年に注目して～. 2020 年第 1 回首都大学東京公開講座, 2 月, 父島.
- フローレス慈英 2020. 小笠原諸島における降水量の季節変化に及ぼす台風の影響～エルニーニョ年, ラニーニャ年, 通常年に注目して～. 2020 年第 2 回首都大学東京公開講座, 2 月, 母島.
- フローレス慈英・松山 洋・宮岡健吾 2019. JRA-55 と GPS による可降水量の比較－両者の地形の差異を考慮して－. 日本気象学会 2019 年度春季大会講演予稿集 **115**: 262, 5 月, 渋谷区. (ポスター)
- 三好周斗・齋藤有希・松山 洋 2020. 複数の手法によるスギの葉面積指数の推定－阿蘇のスギ林はその後成長しているのか？－. 第 22 回 CEReS 環境リモートセンシングシンポジウム, 2 月, 千葉. (ポスター)
- 安元愛里菜・堀井洋輔・石川和樹・中山大地 2019. エージェントベースモデルを用いた避難行動シミュレーション－阿蘇市内牧地域を対象に－. 第 22 回年次シンポジウム (CSIS DAYS 2019) 「全国共同利用研究発表大会」研究アブストラクト集: 49, 11 月, 柏. (ポスター)

5 都市・人文地理学研究室

1) スタッフ

教授	若林芳樹
准教授	滝波章弘・矢部直人
助教	坪本裕之
特別先導教授	杉浦芳夫
客員研究員	小泉 諒
リサーチ・アシスタント	荒堀智彦 (2019年10月から)
大学院 (博士後期課程)	荒堀智彦 (2019年9月まで)・栗山絵里 (休学中)・須崎成二・ベッタイブ・ボシュラ・平間一樹
大学院 (博士前期課程)	窪田裕子 (休学中)・野間文史・村上和輝・黄 湘庭・今井誠彦・金田智寛・鶴房敬也
卒論生	並木雄大・木村実のり・原内 想・松尾空海・芥川穂高・井口 遥・河野龍大

2) 研究概要

この研究室は、人文地理学の分野を研究するグループである。人間との関係における地域ないし空間の問題を、人文・社会科学的側面からアプローチし、多様な人文現象の構造的な説明・解釈を目的としている。現在行なわれている研究は、様々なレベルに分類できる。対象地域としては、都市とその周辺地域を中心とし、事象としては産業活動、人間行動や意識、その他の種々の人文・社会現象、方法論としては計量的方法、統計的実証的手法、および文献検証的手法が使われ、対象時期は歴史時代より現代までおよぶ。「専門は深く」、「関心は広く」を標語にして、次のような研究が行われている。

- 1 数理モデルによる人文地理的現象の解析：
 - 1.1 経済活動の立地
 - 1.2 人・物の移動と情報の伝播
 - 1.3 頭の中にイメージする地図と空間的行動
 - 1.4 時間地理学的研究
- 2 地域研究による人文地理的現象の解析：
 - 2.1 人間や経済活動や文化活動と環境との関わり合いに関する研究
 - 2.2 都市近郊における土地利用変化と諸事象の地域形成に関する研究
 - 2.3 人間がつくる地域組織や社会組織に関する研究
 - 2.4 環境変化にともなう人間活動の変容に関する研究

- 3 都市システムの解析：
 - 3.1 都市内部の空間構造の研究
 - 3.2 都市群のシステム論的研究
- 4 地理思想の研究：
 - 4.1 現代地理学の研究史
 - 4.2 地理学研究分野の計量書誌学的研究

3) 研究成果 (2019 年度)

原著論文・展望論文 (査読付きの論文)

- 由井義通・宮澤 仁・若林芳樹 2019. 郊外住宅団地再生に向けた地域包括ケアシステムの導入. 日本都市学会年報 **52**: 65-71.
- 宮澤 仁・若林芳樹 2019. 保育サービスの需給バランスと政策課題 : GIS を用いた可視化から考える. 日本労働研究雑誌 **61(6)**: 35-46.
- 須崎成二 2019. 新宿二丁目におけるゲイ・ディストリクトの空間的特徴と存続条件. 都市地理学 **14**: 16-27.

その他の論文(査読なしの論文、紀要・単行本の分担執筆を含む)

- 若林芳樹 2019. 居住地選好からみた現代日本の都市と地域. 阿部和俊・杉浦芳夫編 『都市地理学の継承と発展』 あるむ, pp. 43-51.
- Wakabayashi, Y. 2019. Population dynamics and the environment. In Human Geoscience. ed. Himiyama, Y., Satake, K. and Oki, T., 249-260. Singapore: Springer.
- Wakabayashi, Y. 2020. Mapping the problems of housing vacancies in Japan. In The Rise in Vacant Housing in Post-growth Japan: housing market, urban policy and revitalizing aging cities. ed. Kubo., T. and Yui, Y. 23-32. Singapore: Springer.
- 滝波章弘 2020. 地域ブランド米「あさか舞」に対する農協の取り組み - JA 郡山市、そして JA 福島さくら -. 理論地理学ノート **22**: 19-40.
- 滝波章弘 2020. 福島県中通り地方の農村女性が続ける農産加工 - 郡山産のうるち米ともち米を使った 6 次化 -. 理論地理学ノート **22**: 104-124.
- 矢部直人 2019. ロンドン東部とオリンピック公園の現状. 都市地理学 **14**: 154-161.
- 矢部直人・籠宮信雄・田中孝幸・渡辺真成 2019. 訪日外国人の地方における周遊ルートの変遷とその要因. 内閣府経済社会総合研究所リサーチノート **47**: 1-17.
- 坪本裕之 2020. 横浜みなとみらい 21 地区における 2000 年以降のオフィス立地. 理論地理学ノート **22**: 159-168.
- 杉浦芳夫 2019. ロシア人地理学者 V. V. Pokshishevsky による中心地理論批評をめぐって. 阿部和俊・杉浦芳夫編 『都市地理学の継承と発展』 あるむ, 94-111.
- 芥川穂高 2020. 新駅開設の要因と利用の現状、周辺地域の変化 - JR 磐越西線 郡山富田駅を事例として -. 理論地理学ノート **22**: 59-78.

阿部和俊 2020. 郡山市におけるインバウンド誘致の現状と展望 – 未来へ歩み続ける「郡山人」と地域振興 – 理論地理学ノート 22: 41-58.

並木雄大 2020. 原発事故後の避難と帰還の地域的特性 – 福島県双葉郡富岡町の学校・居住と復興に関して – 理論地理学ノート 22: 79-103.

編著書(単著・共著・編集など、分担執筆は含まない)

阿部和俊・杉浦芳夫編 2019.『都市地理学の継承と発展』あるむ.

報告書

なし

書評

なし

その他の報文(技術レポート、商業誌、解説・雑録など)

森田 喬ほか 20 名 2019. 第 29 回国際地図学会議・第 18 回国際地図学協会総会 (日本国・東京) 最終報告. 地図 57 (4) :13-55.

矢部直人 2019. 学界展望 (2018 年 1 月～12 月) —経済地理一般—. 人文地理 71: 257-261.

杉浦芳夫 2019. 日本の地理学における森川 洋先生の足跡ならびに本記念論文集刊行の経緯. 阿部和俊・杉浦芳夫編 『都市地理学の継承と発展』あるむ, 2-3.

講演・学会発表

Thang, L.L., Yui, Y., Wakabayashi, Y. and Miyazawa, J. 2019. Re-creating 'Shutter-down: shop spaces for community support and care: case study of an aging neighborhood in Japan's depopulated new town. ICAS 11, Leiden, July, Netherland.

Wakabayashi, Y. 2019. Intergenerational differences in the use of maps: results from an online survey. ICC2019, July, Tokyo.

Wakabayashi, Y. 2019. Visualization of two aspects of residential preference and its change in Japan. EUROGEO2019, August, Ljubljana (Slovenia).

若林芳樹・ベッタイブ・ボシュラ 2019. 外国人旅行者のための都市の公共サインの現状と課題 – 東京都心部の事例 –. 日本都市学会第 66 回大会発表要旨集 66: 84-85, 10 月, 広島.

若林芳樹 2020. 地図学・地理情報科学における Waldo Tobler の遺産とその継承. 日本地理学会発表要旨集 97: 225. 3 月, 世田谷区.

Yabe, N. 2019. Geographically weighted bidimensional regression on the 17th-century map of a castle town in Japan. Abstracts of the International Cartographic Association 1: 412, July, Minato-ku.

矢部直人・岡野雄気 2019. 訪日外国人の地方における周遊ルートの変遷とその要因. 日本地理学会発表要旨集 96: 162, 9 月, 新潟.

矢部直人・岡野雄気 2019. 訪日外国人の地方訪問に関する縦断データの分析. 2019 年人文地理学会大会, 11 月, 大阪.

- 矢部直人 2019. 地方圏域への外国人旅客流動とその影響要因. 第 58 回 ESRI 経済政策フォーラム「インバウンド観光産業の生産性向上—地域活性化のためのデジタル・イノベーション」, 11 月, 千代田.
- 齋藤敦子・坪本裕之・菅野文恵・石崎真弓・比嘉文彦 2019. 知的生産性を向上させる SOF モデルのワーカーを対象としたアンケート・その 2. 日本オフィス学会第 20 回大会報告: 29-32, 9 月, 新宿.
- 坪本裕之・菅野文恵 2020. ワークプレイスモデル SOF のアンケート調査結果. ファシリティマネジメントフォーラム 2020, 2 月, 江戸川区.
- Arahoru, T. 2019. The role of disease maps in influenza epidemiological surveillance in Japan. 17th International Medical Geography Symposium, July, Tokyo.
- 小泉 諒 2019. 包括型の地域支援拠点の形成 —神奈川県横浜市—. 日本地理学会発表要旨集 95: 58, 3 月, 川崎.
- 小泉 諒 2019. 東京大都市圏および川崎市の居住地域構造とその変化. 専修大学社会科学研究所「川崎市をフィールドとする産業・労働・生活の現状と課題に関する研究」プロジェクト研究会, 11 月, 川崎.
- 荒堀智彦 2019. 感染症予防と制御を目的とした疾病地図の利用状況と地域差. 日本地理学会発表要旨集 97: 279, 3 月, 世田谷区.
- 須崎成二 2019. 空間/場所と性的少数者の視点. 日本地理学会発表要旨集 96: 21, 9 月, 新潟市.
- 須崎成二 2019. 新宿二丁目におけるレズビアンとゲイの共存をめぐる諸問題. 日本地理学会発表要旨集 96: 83, 9 月, 新潟市.
- Bettaieb, B. and Wakabayashi, Y. 2019. Spatial analysis of tourist spots in central Tokyo using online geotagged photographs from Flickr. ICC2019, July, Tokyo.
- Bettaieb, B. and Wakabayashi, Y. 2019. Role of maps and public street signs in wayfinding behavior by foreign visitors. 16th ICGS, September, Zagreb (Croatia).

6 特定学術研究

受託研究費による研究 (1件)

鈴木毅彦: 株式会社パスコ「湖雲寺遺跡の立地・地形に係わる地質学的研究」

産学共同研究費による研究 (5件)

高橋日出男: 首都大学東京・東京都環境科学研究所共同研究「東京における温暖化とゲリラ豪雨等局地的極端現象の実態解明に関する研究」

高橋日出男: 首都大学東京・埼玉県環境科学国際センター共同研究「埼玉県内の詳細な気温分布に関する研究」

高橋日出男: 首都大学東京・東日本旅客鉄道株式会社東日本旅客鉄道株式会社 JR 東日本研究開発センター共同研究「都市部における強雨の挙動に関する研究」

松本 淳: 宇宙航空研究開発機構地球観測研究公募共同研究「GPM と気象レーダデータの活用によるベトナムにおける洪水予報能力の向上」

高橋 洋: 宇宙航空研究開発機構 地球観測研究公募共同研究「TRMM-PR+GPM-DPR による熱帯アジアの降水特性のトレンドと年々変動」

提案公募型研究費による研究 (9件)

鈴木毅彦: 京都大学防災研究所一般共同研究「火山灰地域に形成された人工改変地における地震時流動性地すべりのポテンシャル評価」

松本 淳: 首都大学東京傾斜的研究費 (全学分) 学長採択枠「2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けた都市気候研究」

松山 洋: 一般財団法人 WNI 気象文化創造センター 第 8 回気象文化大賞「土壌雨量指数を用いた土砂災害発生危険度の評価と、ロシアにおける融雪土砂災害への応用」

松山 洋: 科学技術振興機構 戦略的国際共同研究プログラム (SICORP)「日本-ロシア共同研究」(北極観測および北極域における自然利用とエネルギー資源開発のための科学技術)「シベリアの極地および山岳地域において増加する水文、気象の極端現象が炭素および水循環に及ぼす影響に関する比較研究」

川東正幸: 首都大学東京傾斜的研究費 (部局分) 国際化推進「タイ国高品質米生産のための劣化土壌最適化技術の確立」

高橋 洋: 環境研究総合推進費補助金「気候変動影響評価のため日本域の異常天候ストーリーラインの構築」

高橋 洋: 統計数理研究所共同研究「大規模な気候アンサンブル実験の統計的解析手法の検討」

高橋 洋: 東京大学大気海洋研究所共同研究「アジアモンスーン降水の将来変化と海面水温変化パターンとの関係」

高橋 洋: 国土地理協会「過去 100 年の日本の雪の気候変動」

科学研究費補助金による研究 (19 件)

- 松本 淳：日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(A)「航海日誌に記録された気象観測資料による南シナ海モンスーンの長期変動史」
- 高橋日出男：日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (A)「稠密地上気象観測と境界層観測に基づく東京の都市大気立体構造の解明」
- 松山 洋：日本学術振興会 科学研究費補助金 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B)) 土壌雨量指数と決定木を用いた融雪災害研究—トムスク市(ロシア)を事例に—
- 若林芳樹：科学研究費補助金基盤研究(A)「人と社会の側からみた地図・地理空間情報の新技術とその評価」
- 渡邊眞紀子：日本学術振興会科学研究補助金 基盤研究 (C)「土壌菌核粒子中の重金属特性と土壌環境との関係性」
- 白井正明：日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C)「安倍川上流域の堆積学的調査より迫る中部山岳周辺の巨大土石流災害の実像」
- 矢部直人：日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「東京大都市圏都心および郊外における夫婦共働き世帯の生活時間に関する研究」
- 石村大輔：日本学術振興会研究費補助金 若手研究 (A)「2016 年熊本地震時の微小断層変位を対象とした低活動度活断層の実態解明」
- 石村大輔：日本学術振興会学術研究助成基金助成金 挑戦的研究(萌芽)「高密度掘削試料の総合的解析による津波堆積物の地層対比手法の確立」
- 高橋 洋：日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究 (B)「過去 55 年間の日本における豪雪長期変化の地域性と近年の豪雪事例の急増」
- 坪本裕之：日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「東京中心地域におけるフレキシブルオフィススペースの展開」
- 中山大地：日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 (C)「近代期の東京における社会地図の作成ならびに都市構造の変化に関する研究」
- 杉浦芳夫：日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「中心地理論の計画論的応用の展開に関する研究」
- 藤部文昭：日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C)「熱中症による死亡をもたらす気象条件とその発現要因の解明」
- 濱田純一：日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C)「インドネシア海大陸の豪雨と冬季アジアモンスーンの影響の気候学」
- 瀬戸芳一：日本学術振興会科学研究費助成事業 若手研究「近年の気圧配置型変化が関東平野の局地風系と気温分布に及ぼす影響の解明」
- 坂上伸生：日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C)「冷温帯における森林皆伐地の植生回復と土壌生成」
- 西澤文勝：日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究 「南九州カルデラ地域の前-

中期更新世火砕流堆積物の層序と爆発的火山噴火史の解明」

石川和樹：2019年度日本学術振興会科学研究費補助金 特別研究員奨励費「交通量調査史料を用いた近代東京の人流に関する定量的研究」

7 学位論文

2019 年度 博士取得者の学位論文テーマ

2019 年 9 月修了

Lyndon Mark Olaguera (主査：松本淳)

A climatological study of the rainfall variability in the Philippines: from synoptic to decadal-scale aspects (フィリピンにおける総観スケールから十年スケールまでの降雨変動に関する気候学的研究)

2020 年 3 月修了

Battulga Batdulam (主査：川東正幸)

Behavior and distribution of plastic debris in the urban river in Mongolia (モンゴルの都市河川におけるプラスチックごみの動態と分布)

2019 年度 大学院博士前期課程修了者の論文テーマ

- 北林 翔 大規模火山噴火後の地表気温応答と ENSO との関連性
- 齋藤有希 UAV 画像および衛星画像から求めたテクスチャ特徴量と樹高との比較に関する研究—八ヶ岳山麓カラマツ林を対象に—
- 田野智大 伊豆諸島御蔵島におけるテフラ層序の再検討および火山体形成過程に関する考察
- 野間丈史 土地利用 GIS データを用いた近代都市の成立過程の考察—東京都心部における首都機能の形成—
- 長谷川聖矢 内部収益率を考慮した洋上風力発電所の適地分析—日本近海を対象として—
- 平峰玲緒奈 記載岩石学的特徴に基づく日本列島の海岸における漂着軽石の給源の推定とその分布
- 藤宮健太郎 夏季における北太平洋高気圧の季節推移と日本の気温年々変動
- 村上和輝 関東地方における閉店した百貨店の跡地利用の現状とその決定要因
- 黄 湘庭 日本の都市における自動販売機の立地分析—八王子市南大沢地区を事例にして—
- 松浦果菜 熱帯低気圧に伴う降水に関する気候学的研究